

北九州市民の住宅・居住地の選好性に関する調査研究

伊藤 解子

1 はじめに

(1) 調査研究の背景

北九州市は1963年に門司、小倉、若松、八幡、戸畑の5市の対等合併によって誕生した。旧5市は、それぞれ人口10～30万人規模に見合った都市基盤や都市機能を形成していたが、合併によって大都市にふさわしいまちづくりが推進されるようになり、北九州市は多くの市民が住みやすいと評価するまちになった。

市政発足時、「住」は市民が最も期待する施策のひとつであった。住宅不足解消のための公的住宅建設や持家政策は郊外の農地や山林を住宅地に変え、さらにモータリゼーションがライフスタイルを変えて郊外開発を後押しした。その結果、この50年間に宅地面積は約3倍、自動車保有台数は約12倍に増加し、一方、農地は約7割、民有林は約3割減少した。

このような「拡がり過ぎた」ともいえる市街地は、市政にとっても市民生活にとっても「負荷」とならざるを得ない。欧米都市では早くからコンパクトな都市づくりが志向されてきたが、わが国でも、今世紀を迎える頃から、拡大基調の都市政策が見直されるようになった。北九州市では、2003年に策定した都市計画マスタープランにおいて都市づくりの基本方向を見直し、はじめて「街なか」重視の方針を打ち出した。そこで「街なか」とされたのは、概ね1965年の人口集中地区、つまり北九州市発足時の市街地にほぼ相当する区域である。モータリゼーション以前に形成された「歩いて暮らせる」街であり、旧5市時代から多様な都市機能が形成されてきた街である。

以降の都市政策は「街なか」に軸足を置いて進められるようになった。ただし、「郊外居住」の衰退につながる「街なか居住」の促進について、行政の立場として慎重とならざるを得ない。しかし、そのような施策によらなくても、「街なか居住」を選択する人は確実に増えている。図1は2000年以降の人口動態であるが、合併直後から減少が続いていた「街なか」の人口は近年ようやく増加に転じた。公共施設や公共交通などのインフラが比較的整ったインナーシティの住み良さが再評価される傾向は既に全国的なものとなっている。そのような市民の居住地選択動向や環境負荷低減の課題に対応し、北九州市にふさわしいコンパクトな都市づくりが求められている。

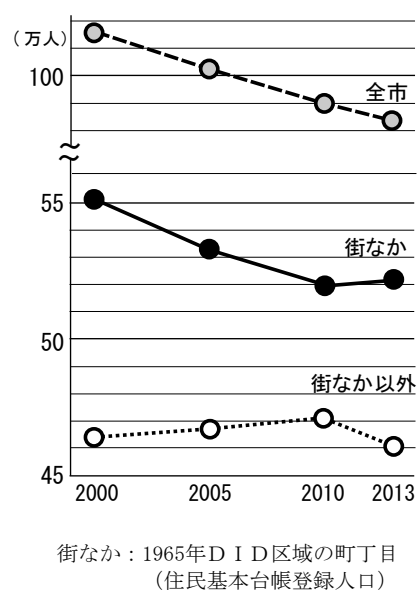


図1 市街地区別の人口推移

(2) 調査研究の目的・研究方法

以上のような認識に基づき、本調査研究では、市民の住宅・居住地の選好性や生活環境、都市環境に関する意識等の把握を目的に、北九州市の居住者を対象とするインターネット方式によるアンケート調査を実施した。

調査内容は、居住地の住み良さに関する評価、居住地の将来予想とそれを踏まえた居住継続意向、住み替えを想定した場合に選びたい住宅や居住地の条件、及び、これからの都市のあり方や都市づくりの方策等に関する意識や考え方についてである。

表 1-1 アンケート調査の実施概要

対象者	20歳以上の北九州市居住者
調査方法	インターネット調査 (株マクロミル)
調査期間	2014年12月22日～27日
有効回答者数	1,034人

表 1-2 回答者の属性

	回答数 (人)	構成比率 (%)																								
		計	居住区							市街地区分			北九州市居住歴					職業								
			1 門司区	2 小倉北区	3 小倉南区	4 若松区	5 八幡東区	6 八幡西区	7 戸畑区	1 市街化区域 (街なか)	2 市街化区域 (その他)	3 市街化調整区域	1 生まれたときから	2 5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満	5 20年以上	1 正規雇用者 (役員を含む)	2 非正規雇用者 (契約社員や派遣社員など)	3 パートやアルバイトなどの雇用者	4 自営業主	5 家族従事者	6 主婦	7 学生	8 無職 (退職者を含む)	9 その他
計	1,034	100	10	19	20	9	6	29	7	56	43	1	26	14	9	14	37	37	6	12	10	1	19	3	11	1
20代・男性	50	100	12	18	10	10	8	36	6	50	48	2	26	26	14	16	18	38	6	12	4	-	-	24	16	-
30代・男性	123	100	11	17	21	7	6	30	8	54	44	2	29	19	11	14	28	72	5	5	7	1	1	1	8	1
40代・男性	129	100	12	25	19	5	7	28	3	59	40	2	27	10	16	18	29	71	5	2	19	-	-	-	5	-
50代・男性	112	100	12	22	17	14	3	25	7	58	41	1	22	5	4	18	51	58	6	2	21	2	1	-	7	4
60代以上・男性	103	100	8	12	21	6	11	32	11	59	41	-	22	3	2	3	70	20	12	5	24	-	1	-	36	2
20代・女性	102	100	2	25	28	5	5	32	3	52	47	1	32	35	16	11	6	20	6	14	3	-	29	20	7	2
30代・女性	113	100	13	19	21	9	2	27	9	51	46	3	22	24	19	12	23	20	6	16	2	3	42	-	10	1
40代・女性	103	100	6	20	17	13	9	29	6	55	43	2	26	12	4	21	37	24	9	28	4	2	28	-	5	-
50代・女性	139	100	10	21	17	10	6	28	9	58	41	1	29	6	5	14	45	18	3	22	7	1	39	-	10	1
60代以上・女性	60	100	13	10	30	12	3	22	10	52	45	3	18	2	3	12	65	5	2	13	3	3	58	-	13	2

	回答数 (人)	構成比率 (%)														
		計	家族構成						住宅の種類							
			1 1人世帯	2 2世代世帯 (夫婦だけ)	3 (20歳未満の子のみ)	4 2世代世帯 (20歳以上の子を含む)	5 3世代世帯 (親と子と孫)	6 その他	1 (一戸建) 家族または自身の持ち家	2 (マンションなど) 家族または自身の持ち家	3 民間の賃貸住宅 (一戸建)	4 民間の賃貸住宅 (マンション、アパートなど)	5 公営・公社・URの賃貸住宅	6 勤め先の給与住宅 (社宅や官舎など)	7 その他	8 わからない
計	1,034	100	14	22	27	28	6	3	43	18	3	25	7	3	0	0
20代・男性	50	100	32	8	12	36	10	2	30	4	2	38	14	8	-	4
30代・男性	123	100	18	15	32	27	7	2	41	16	3	28	6	5	-	-
40代・男性	129	100	16	12	44	19	5	3	47	16	2	26	5	3	-	-
50代・男性	112	100	15	19	18	37	7	4	50	20	5	12	10	3	1	-
60代以上・男性	103	100	17	48	2	26	5	2	58	26	2	5	7	2	-	-
20代・女性	102	100	22	14	29	26	8	1	22	9	2	47	10	9	1	1
30代・女性	113	100	7	12	56	20	4	1	35	15	4	40	3	2	1	1
40代・女性	103	100	11	19	45	16	7	3	39	16	8	30	7	1	-	-
50代・女性	139	100	7	32	8	46	4	3	53	24	3	13	6	1	1	-
60代以上・女性	60	100	5	53	2	27	5	8	52	30	-	10	8	-	-	-

2 アンケート結果

2-1 居住地の現況評価

(1) 現在の居住地の良いところ・良くないところ

まず、現在の居住地について、「市内の他の場所に比べて」良いところ・良くない（不満を感じる）ところについて問いかけを行った。

それぞれの回答率を項目別に比較すると、ほとんどの項目で「良い」が「良くない」をかなり上回る。ただし、「高齢者のための施設」と「子育て支援施設」の利用しやすさについては「良くない」が「良い」を上回る。

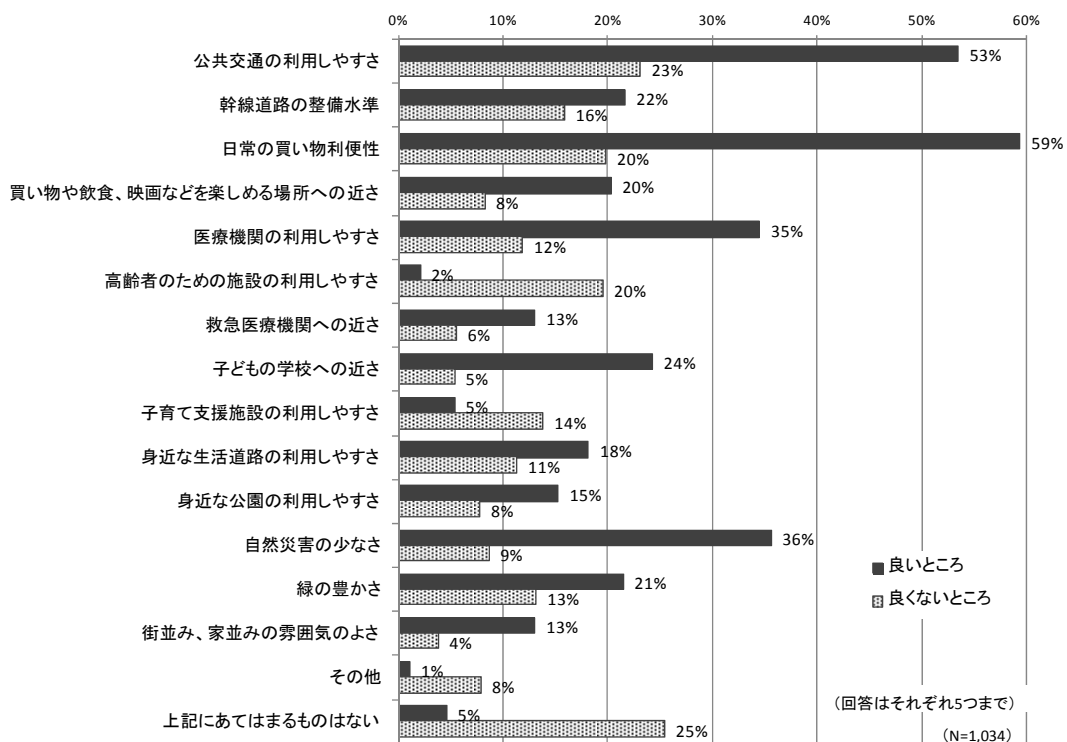


図2-1-1 (1) 現在の居住地の良いところ・良くないところ

① 良いところ

最も多いのは「日常の買い物が便利」、次いで「公共交通（バス、モノレール、筑豊電鉄、JR）が利用しやすい」が多く、いずれも過半数である。続いて「自然災害が少ない」「医療機関が利用しやすい」が3割を超え、以下、「子どもの学校が近い」「幹線道路が整備されている」「緑が豊か」等の順となっている。

項目別・属性別の回答傾向をみていくと、年齢が高いほど、市内居住年数が長いほど「良いところ」を多く挙げており、また、戸畑区、八幡東区、小倉北区の居住者、主婦、持ち家（一戸建）の居住者等が良いところを比較的多く挙げている。

上位の「日常の買い物が便利」や「公共交通が利用しやすい」については、街なかの居住

者の評価が他の地域の居住者に比べてかなり高く、買い物よりも公共交通に対する評価の差が大きい。日常の買い物については50代以上、主婦や無職、夫婦だけの世帯等の回答率が比較的高く、主婦や退職者など地域における生活時間の長い人にとって、買い物は重要な居住地評価の要件であることがわかる。一方、公共交通は、学生、単身世帯、持ち家（集合住宅）や公営・公社・UR賃貸の居住者等の回答率が比較的高く、地域との関わりが弱いと思われる人の方が重視する傾向がみられる。

「自然災害が少ない」については、50代以上、とりわけ、60代以上の男性の回答率が高く、また、市内居住年数別が20年以上の人や自営業主等の回答率が比較的高い。市内で長く暮らしている人や事業活動を行っている人ほど、経験的に自然災害が少ないと感じていることがうかがわれる。

また、「医療機関が利用しやすい」については60代以上、「子どもの学校が近い」については30～40代の女性等、ライフステージに対応した評価がみられる。

行政区別では、「医療機関が利用しやすい」で戸畑区、八幡東区、「緑が豊か」で若松区、門司区、「買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が近い」で小倉北区、戸畑区の評価が高い。

② 良くないところ

最も多かったのは「あてはまるものはない」、つまり不満はないという回答であり、女性よりも男性の方が不満が少ないという傾向がみられる。また、自営業主、公営・公社・UR賃貸や持ち家（集合住宅）の居住者等で、不満はないとする回答率が比較的高い。

不満が最も多かったのは「公共交通が利用しにくい」、次いで「道路が狭いところが多い」「買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が遠い」「救急医療機関が遠い」「日常の買い物が不便」の順となっている。

項目別・属性別の回答傾向をみていくと、男性よりも女性の方が「良くないところ」を多く挙げており、なかでも30代・女性が多い。また、若松区、市内居住歴5年未満、パート・アルバイト、子どもを抱える核世帯等で比較的多い。

「公共交通が利用しにくい」については、街なか以外での回答率が高く、街なかとの差が実感されていることがわかる。行政区別では若松区の評価が特に低い。また、20～40代の女性や子どもを抱える世帯、パート・アルバイト等で、不満を感じている人が比較的多い。

「道路が狭いところが多い」については、八幡東区の回答率が比較的高い。また、20～40代の女性や子どもを抱える世帯の回答率が比較的高く、子どもの交通事故や自身の運転技術への不安等がその理由として考えられる。

「買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が遠い」については、門司区、若松区の回答率が比較的高い。また、20代女性、学生、市内居住歴5年未満等の回答率が比較的高く、都会的な楽しみを求める気持ちが強いことが不満となって現れているといえる。

また、行政区別では、「救急医療機関が遠い」「日常の買い物が不便」「子どもの学校が遠い」は若松区、「身近な生活道路が狭い」は小倉南区、「緑が少ない」は小倉北区、戸畑区、「医療機関が利用しにくい」は八幡東区の回答率が比較的高い。

表2-1-(1)-① アンケート集計表(1)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1																	
		2-1-(1)-① 現在の居住地の良いところ																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
		回答率・累計(累計1~15)(%)	公共交通が利用しやすい	幹線道路が整備されている	日常の買い物が便利	買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が近い	医療機関が利用しやすい	高齢者のための施設が利用しやすい	救急医療機関が近い	子どもの学校が近い	子育て支援施設が利用しやすい	身近な生活道路が利用しやすい	身近な公園が利用しやすい	自然災害が少ない	緑が豊か	街並み、家並みの雰囲気が良い	その他	上記にあてはまるものはない	
合計・平均	1,034	337	53	22	59	20	35	2	13	24	5	18	15	36	21	13	1	5	
性別	男性	517	329	53	28	57	19	32	2	12	21	3	17	15	35	19	14	2	7
	女性	517	350	54	15	62	22	37	2	14	28	7	20	16	36	24	12	1	3
年齢	20代	152	286	55	11	50	22	32	2	10	24	6	13	15	25	11	9	1	11
	30代	236	309	45	17	54	19	28	1	10	28	12	16	19	28	18	11	3	6
	40代	232	344	54	23	59	24	34	1	13	29	3	21	12	34	24	12	1	4
	50代	251	373	60	27	65	24	36	2	12	23	3	21	16	42	23	18	1	2
	60代以上	163	379	54	29	67	9	46	5	22	15	2	19	15	50	31	15	-	2
	年齢・性別	20代・男性	50	252	52	20	40	22	22	-	10	16	2	8	16	28	6	10	-
	30代・男性	123	291	47	23	50	19	25	2	9	24	7	15	16	24	15	11	4	8
	40代・男性	129	338	57	30	59	24	33	2	10	24	3	19	11	33	22	9	2	5
	50代・男性	112	344	57	33	58	21	31	1	11	23	2	14	18	35	21	18	1	4
	60代以上・男性	103	381	50	31	68	9	47	6	21	13	2	21	13	56	25	19	-	3
	20代・女性	102	301	57	6	55	23	36	3	10	27	8	15	15	24	13	8	1	6
	30代・女性	113	329	42	10	58	20	30	1	12	33	18	17	22	32	21	12	1	3
	40代・女性	103	351	50	15	60	24	34	1	17	35	3	22	13	35	26	15	1	3
	50代・女性	139	393	62	22	71	27	40	3	12	22	4	26	14	47	25	17	1	1
	60代以上・女性	60	368	60	25	65	8	45	3	23	18	3	15	18	38	40	7	-	-
居住区	門司区	102	318	51	17	49	9	29	1	12	25	8	15	20	30	34	17	1	6
	小倉北区	201	352	71	29	68	38	35	1	14	19	5	17	11	25	9	10	0	4
	小倉南区	209	322	55	16	54	10	32	1	11	27	4	19	16	35	29	11	2	3
	若松区	91	294	24	16	46	7	21	3	2	19	5	26	12	52	38	22	1	5
	八幡東区	60	359	53	27	65	17	42	3	22	23	7	15	13	35	27	10	-	3
	八幡西区	298	348	48	23	62	21	38	2	15	29	4	19	16	41	16	13	1	6
	戸畑区	73	379	67	22	64	34	47	4	12	21	11	15	21	32	12	16	1	3
	居住地	市街化区域(街なか)	574	345	64	23	63	23	36	2	16	21	6	18	13	33	15	11	1
	市街化区域(その他)	445	334	41	20	55	17	33	2	9	28	5	18	18	40	30	16	2	4
	市街化調整区域	15	273	27	7	53	13	27	-	13	33	7	27	13	13	33	7	-	13
市内居住歴	生まれたときから	269	331	52	20	55	22	33	2	12	28	6	17	13	38	22	10	1	5
	5年未満	143	298	55	15	55	18	30	1	15	20	10	17	15	20	13	12	2	7
	5~10年未満	96	323	52	21	59	20	41	3	13	21	13	13	19	20	17	11	-	9
	10~20年未満	145	318	51	19	57	22	29	2	14	28	2	17	14	26	21	14	2	5
	20年以上	381	369	55	26	65	19	38	2	13	23	3	21	16	47	25	15	1	2
職業	正規雇用	380	336	56	24	57	22	33	2	12	26	6	19	16	28	19	14	2	4
	非正規雇用	61	294	51	23	59	11	18	3	15	15	2	18	10	23	26	20	-	11
	パート・アルバイト等	120	316	47	13	52	18	29	3	15	30	11	16	11	37	24	9	1	5
	自営業主	104	352	56	31	63	24	38	3	9	15	-	16	10	54	21	11	1	6
	家族従事者	11	362	45	18	55	18	18	9	27	27	-	27	18	55	27	9	9	9
	主婦	199	377	49	18	68	26	43	1	14	31	8	22	23	35	24	15	-	1
	学生	33	283	67	12	42	21	27	3	12	21	-	15	3	39	12	6	3	12
	無職(その他)	114	344	57	23	65	11	39	3	15	17	2	12	14	46	23	15	2	4
家族構成	単身世帯	148	286	59	24	55	22	31	1	14	5	2	18	9	28	11	6	1	9
	夫婦だけ	231	353	56	23	67	20	38	3	17	11	2	23	16	36	23	17	1	3
	親と子(20歳未満)	275	350	48	16	57	20	32	0	13	48	14	15	23	27	21	15	1	4
	親と子(20歳以上)	290	345	57	27	60	19	35	2	10	22	2	18	11	46	24	11	1	4
	親と子と孫	61	352	38	16	54	25	38	5	8	30	5	20	16	48	34	13	2	5
住宅	持ち家(一戸建)	449	336	43	22	52	15	32	4	10	25	5	20	14	44	29	19	2	4
	持ち家(集合住宅)	186	388	68	30	68	24	47	1	22	24	6	17	17	34	19	10	1	3
	民間賃貸(一戸建)	34	346	44	12	65	24	32	3	6	41	12	18	21	35	24	9	-	6
	民間賃貸(集合住宅)	254	314	58	16	65	26	32	1	13	19	5	19	15	25	12	7	1	5
	公営・公社・UR賃貸	71	355	66	25	69	18	30	-	14	35	4	10	18	38	18	10	-	6
	給与住宅	32	320	59	22	53	38	41	3	16	22	13	13	19	6	6	9	-	13

※1：複数回答のため合計は100%にならない ※2：その他・不明を除くため合計は1,034にならない

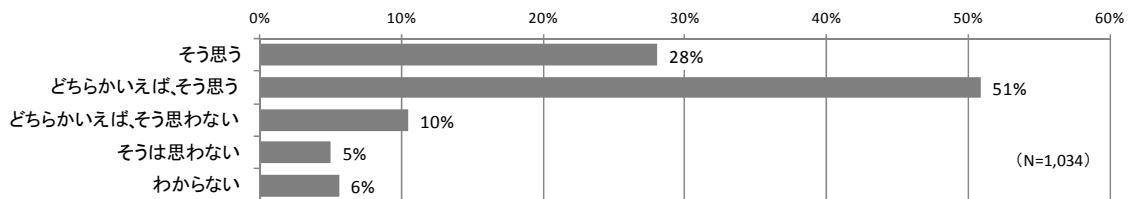
表2-1-(1)-② アンケート集計表(2)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1																
		2-1-(1)-② 現在の居住地の良くない(不満を感じる)ところ																
		1 公共交通が利用しにくい	2 道路が狭いところが多い	3 日常の買い物が不便	4 買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が遠い	5 医療機関が利用しにくい	6 高齢者のための施設が少ない	7 救急医療機関が遠い	8 子どもの学校が遠い	9 子育て支援施設が近くにない	10 身近な生活道路が狭い	11 身近な公園が少ない	12 自然災害の不安がある	13 緑が少ない	14 街並み、家並みが雑然として 雰囲気がよくない	15 その他	16 あてはまるものはない (不満はない)	
合計・平均	1,034	177	23	20	14	20	8	11	16	5	4	13	9	6	8	12	8	25
性別																		
男性	517	160	20	18	13	17	8	12	14	5	4	12	7	5	7	10	8	31
女性	517	193	26	22	15	22	8	11	18	5	4	15	10	6	9	13	8	20
年齢																		
20代	152	184	27	23	14	29	7	7	7	4	5	10	11	2	13	16	10	21
30代	236	203	30	24	14	19	6	6	19	8	5	14	12	8	14	15	11	17
40代	232	177	22	20	17	16	10	9	17	8	5	12	6	8	7	12	9	23
50代	251	153	20	14	12	16	8	15	16	4	2	14	9	6	4	8	6	33
60代以上	163	164	16	20	12	21	7	21	17	3	3	15	6	2	6	10	4	33
年齢・性別																		
20代・男性	50	144	20	18	14	20	4	8	2	-	4	6	4	2	10	16	16	34
30代・男性	123	177	24	20	12	16	4	6	17	7	2	13	8	7	13	15	12	23
40代・男性	129	152	17	17	13	12	11	9	12	10	5	9	6	5	6	11	9	29
50代・男性	112	151	23	11	13	20	9	13	15	3	2	13	10	8	3	3	5	36
60代以上・男性	103	166	17	23	12	20	8	21	16	3	5	16	6	2	6	10	3	34
20代・女性	102	204	30	25	15	33	9	6	9	6	5	12	14	2	15	17	7	15
30代・女性	113	231	35	28	15	23	9	5	22	8	7	15	16	9	14	14	10	11
40代・女性	103	209	29	24	21	20	9	10	23	5	4	16	7	12	8	13	9	16
50代・女性	139	155	17	17	11	14	7	17	17	4	3	15	8	4	4	12	6	32
60代以上・女性	60	160	15	13	13	23	7	20	20	3	-	15	5	3	5	12	5	30
居住区																		
門司区	102	189	19	18	22	31	10	9	17	6	6	13	11	13	1	8	5	25
小倉北区	201	157	15	22	10	10	6	7	9	2	4	16	9	5	15	16	11	26
小倉南区	209	179	24	22	14	23	7	11	15	4	2	18	8	4	6	12	9	23
若松区	91	212	51	12	24	27	11	9	27	13	2	4	9	5	4	9	5	20
八幡東区	60	185	25	32	8	22	13	15	12	7	3	17	3	3	3	15	7	32
八幡西区	298	170	23	17	12	20	7	14	18	6	5	9	9	4	8	12	6	26
戸畑区	73	160	11	21	11	4	5	12	16	7	3	15	11	8	18	7	11	29
居住地																		
市街化区域(街なか)	574	171	15	21	13	19	7	11	12	5	4	14	10	6	11	14	9	28
市街化区域(その他)	445	182	34	19	15	20	8	12	21	6	3	12	7	5	4	9	7	23
市街化調整区域	15	200	7	7	13	27	13	7	13	7	7	20	13	13	20	20	13	20
市内居住歴																		
生まれたときから	269	178	25	22	16	20	5	13	15	5	4	15	9	5	9	10	5	26
5年未満	143	201	23	26	17	26	10	6	9	7	5	14	13	6	14	15	10	17
5~10年未満	96	163	25	17	14	11	5	4	13	3	5	10	13	7	11	16	9	29
10~20年未満	145	178	27	19	16	21	10	11	14	6	3	10	7	6	7	12	9	23
20年以上	381	169	20	18	10	18	9	14	20	6	3	13	7	6	6	11	8	28
職業																		
正規雇用	380	176	22	20	14	19	8	9	14	8	4	13	9	8	10	11	7	23
非正規雇用	61	164	26	18	15	18	3	16	10	3	-	13	8	5	8	16	5	26
パート・アルバイト等	120	206	29	28	18	21	11	10	18	4	6	14	10	6	8	13	10	18
自営業主	104	164	20	16	13	19	12	13	14	3	4	9	10	1	9	14	7	35
家族従事者	11	162	27	27	18	9	18	-	18	9	-	9	-	-	9	-	18	36
主婦	199	177	27	18	12	18	6	10	21	7	5	13	10	6	7	10	7	27
学生	33	171	15	12	15	39	9	15	6	3	-	12	9	-	15	12	9	21
無職(その他)	114	167	17	18	11	17	7	18	18	2	3	16	4	5	6	13	12	27
家族構成																		
単身世帯	148	149	16	21	12	21	6	9	7	-	3	11	6	3	14	13	7	31
夫婦だけ	231	153	18	17	13	17	5	12	13	6	3	12	7	4	7	12	7	32
親と子(20歳未満)	275	200	29	24	16	17	10	6	22	8	6	15	12	8	9	11	7	19
親と子(20歳以上)	290	177	22	17	12	21	9	16	17	3	3	14	7	4	8	14	10	24
親と子と孫	61	214	36	26	18	25	5	18	18	18	-	10	13	7	3	10	7	21
住宅																		
持ち家(一戸建)	449	193	31	22	18	22	9	13	18	7	3	13	8	6	5	11	7	20
持ち家(集合住宅)	186	138	12	11	13	16	5	12	11	4	4	12	8	5	9	10	6	35
民間賃貸(一戸建)	34	208	29	26	15	21	9	21	15	6	3	12	6	9	6	21	9	24
民間賃貸(集合住宅)	254	174	20	21	9	20	8	8	16	4	4	14	11	5	12	13	9	24
公営・公社・UR賃貸	71	134	13	15	4	13	4	13	17	1	4	11	7	3	8	11	10	39
給与住宅	32	221	28	19	9	22	9	3	6	9	9	19	13	9	22	28	16	16

※1: 複数回答のため合計は100%にならない ※2: その他・不明を除くため合計は1,034にならない

(2) 現在の居住地に対する総合的な評価

「良いところ、良くないところを考え合わせて、あなたが住んでいる場所は、市内の他の場所に比べて住み良い方だと思いますか。」という問いに対して、約1/4が「そう思う」と感じており、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、約8割が住みやすいと評価している。



(市内の他の場所に比べて住み良いと思うか)

図2-1-(2) 現在の居住地に対する総合的な評価

年齢が高いほど、また市内居住歴が長いほど「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定的な回答が多い。

行政区別では、「そう思う」の回答率が最も高いのは門司区、小倉北区であり、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると八幡東区の回答率が最も高い。一方、若松区は「そうは思わない」が1割を超え、そのため肯定的な回答率は他の区をやや下回る結果となっている。

市街化区域では街なかとそれ以外の場所ではほとんど差はなく、どちらの居住者も総合的には住みやすいと感じていることがわかる。一方、市街化調整区域はサンプル数が少ないが、肯定的評価は5割程度であり、市街化区域をかなり下回る。

2-2 居住地の将来予想と居住継続意向

(1) 空き家の増加や日用品店舗の減少等への不安

「今後、高齢化や人口減少が進む地域では、空き家の増加や日用品店舗の撤退などが予想されていますが、あなたが住んでいる地域についてそのような不安を感じていますか。」という問いに対して、「すでに空き家が増えつつあり、お店もなくなって、不安や不便を感じている」という回答は1割程度であるが、「近い将来にそうなる」という人を合わせると約3割を占める。さらに、「今は心配してないが将来はそうなる」という人も合わせ、居住地の現況や将来に不安を感じている人が約6割を占める。

「いずれ引っ越しを考えているので、あまり不安や心配は感じていない」という人は約1割で、不安を感じていても転居を考える人は今のところ少ない。

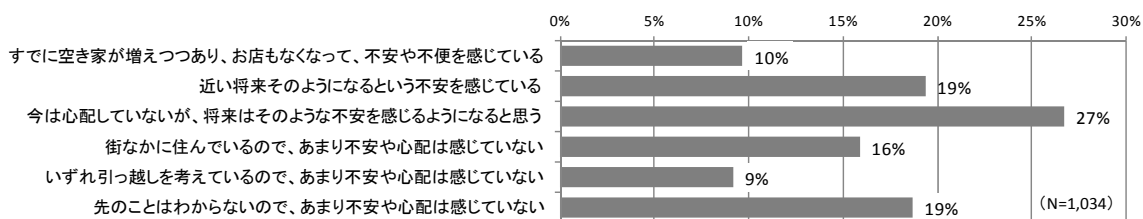


図 2-2-(1) 空き家の増加や日用品店舗の減少等への不安

「すでに空き家が増えつつあり、お店もなくなって、不安や不便を感じている」という差し迫った不安については、若松区、門司区、また60代以上の回答率が比較的高く、場所の問題とともに加齢が不安感を強めていることがわかる。また、「近い将来そのようになる」を合わせると、八幡東区、戸畑区も、若松区、門司区と同様に回答率は4割を超える。

一方、小倉北区では、「街なかに住んでいるので、あまり不安や心配は感じていない」が最も多く約3割であり、「いずれ引っ越しを考えている」「先のことはわからない」を合わせて、不安を感じていない人が約6割を占める。

また、「先のことはわからない」については、小倉南区、八幡西区の回答率が比較的高い。ただし、両区とも、現況や将来に不安を感じている人は既に過半数となっている。

(2) 空き家の増加と居住継続意向

上記の設問で、現況や将来に不安を感じていると回答した人に「今後、周囲がどのくらい空き家（集合住宅の場合は空き部屋）になったときに、住み続けるのが難しく感じるようになりますか。」と問いかけた。その結果、「空き家の方が多い、と感じられるようになったとき」に、困難を感じると思う人が半数を超えた。しかし「空き家がかかなり多くなって、今の場所に住み続けたい」が1割を超え、また「わからない」も2割近く、困難を感じても住み続ける選択をする人は少なくないと思われる。

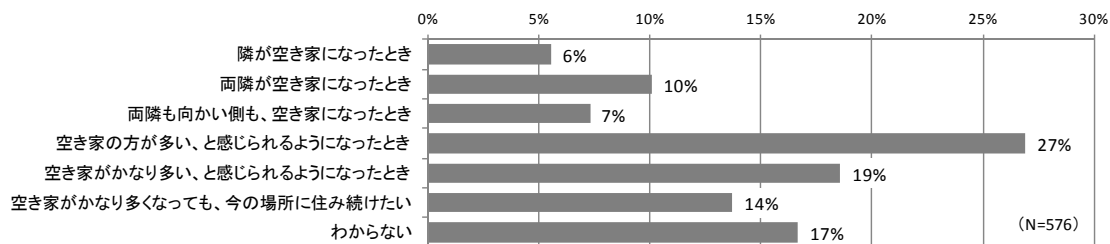


図 2-2-(2) 空き家の増加によって住み続けるのが難しく感じる時

「空き家がかかなり多くなって、今の場所に住み続けたい」という意向は年齢が高いほど、居住歴が長いほど強く、男性が女性を上回る。また、若松区、八幡東区、戸畑区は、他の区に比べて住み続けたいという意向が強い。三世帯世帯や持ち家（一戸建）の場合も居住継続意向が比較的強い。

(3) 店舗の減少と居住継続意向

上記と同様に、不安を感じている人を対象に「今後、食料品や生活用品などの買い物がどのくらい不便になったときに、住み続けるのが難しいと感じるようになると思いますか。」と問いかけた結果、困難を感じると思う人は「バスなどの公共交通を利用しないと買い物できなくなったとき」に半数近くとなり、「自家用車を利用しないと買い物できなくなったとき」には約6割となり、さらに「移動販売などに頼らないといけなくなったとき」に8割を超える。

一方、「福祉サービスや家族などの支援を受けながら今の場所に住み続けたい」という人は1割未満であり、上記の、空き家の増加の場合よりも少なく、買い物の不便さの方が生活への影響が深刻とみなされる傾向にあることがわかる。

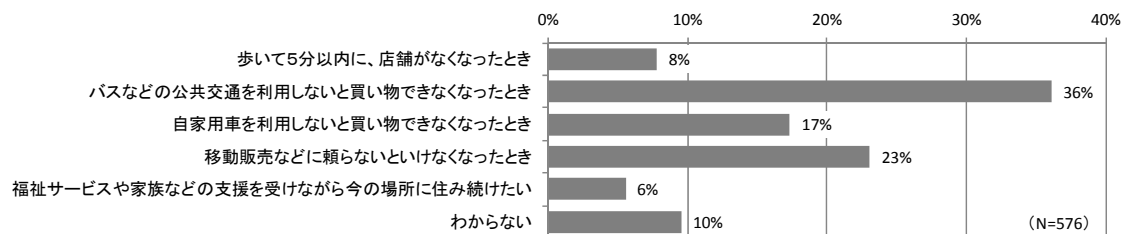


図2-2-(3) 店舗の減少によって住み続けるのが難しいと感じるとき

買い物の利便性の低下によって、住み続けることに難しさを感じる傾向が強いのは、30代女性、20代男性、学生、単身世帯、市内居住歴5年以上10年未満、民間賃貸住宅の居住者等である。また、市街化区域内では街なかの居住者の方がその傾向がやや強く、なかでも小倉北区の居住者はその傾向が強い。

「福祉サービスや家族などの支援を受けながら今の場所に住み続けたい」という意向は年齢が高いほど、居住歴が長いほど強い。また、小倉南区では他の区に比べて住み続けたいという意向がやや強い。三世帯世帯や持ち家（一戸建）の場合も居住継続意向が比較的強い。

2-3 住み替えるなら選みたい住宅・居住地

(1) 選みたい住宅の種類（所有関係・建て方）

「あなたが住み替えることになった場合、あなたはどのような住宅を選みたいですか。」という問いに対して、「持ち家（一戸建）」が最も多く約1/3を占め、次いで「民間の賃貸住宅（集合住宅）」と「持ち家（集合住宅）」がほぼ並んでいる。

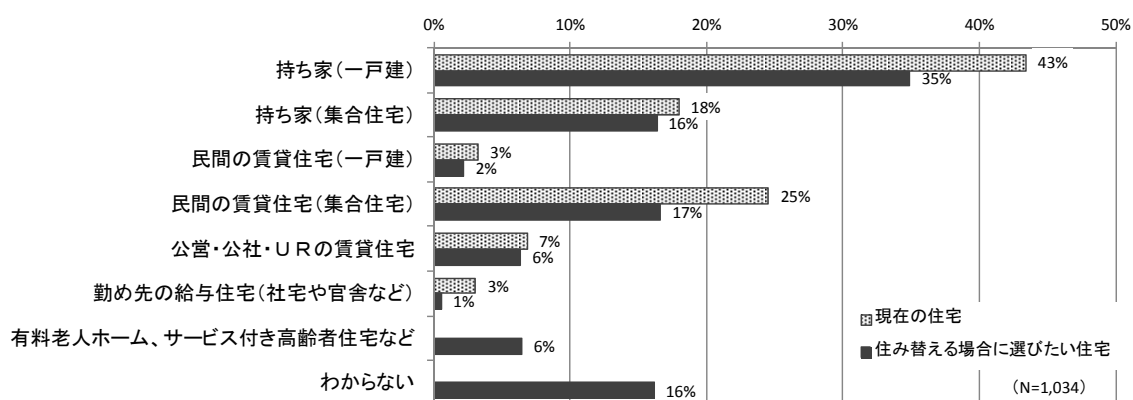


図2-3-(1) 住み替えるなら選みたい住宅

現住居と同様の住宅を選ぶ傾向があるが、現在、持ち家（一戸建）に住んでいる人も約4割は集合住宅を選びたいと回答しており、持ち家（一戸建）にこだわらない人は増えていると思われる。

「持ち家（一戸建）」を選びたいという意向は、女性よりも男性の方が強く、また30代、40代、若松区、北九州市出身者、子どもがいる世帯等で比較的強い。

「持ち家（集合住宅）」については、30代男性、50代女性、門司区、小倉北区、市内居住歴10年未満、夫婦だけの世帯等で選択意向が比較的強い。

表2-2-(3)・表2-3-(1) アンケート集計表(4)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1													
		2-2-(3) 店舗の減少によって住み続けるのが難しいと感じるとき ※3							2-3-(1) 住み替えるなら選びたい住宅						
		1	2	3	4	5	7	1	2	3	4	5	6	7	9
		1	2	3	4	5	7	1	2	3	4	5	6	7	9
		歩いて5分以内に、店舗がなくなつたとき	歩いて5分以内に、店舗がなくなつたとき	歩いて行ける場所に店舗がなく、バスなどの公共交通を利用しないと買い物ができなくなつたとき	歩いて行ける場所に店舗がなく、バスなどの公共交通を利用できなくなつたとき	公共交通も利用できず、自家用車を利用しないと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき	公共交通も、自家用車も利用できず、移動販売などに頼むと買い物ができなくなつたとき
合計・平均	1,034	8	36	17	23	6	10	35	16	2	17	6	1	6	16
性別															
男性	517	8	35	17	22	6	11	38	16	3	14	6	1	4	18
女性	517	7	38	18	24	5	8	32	17	2	19	7	0	9	15
年齢															
20代	152	10	40	20	23	2	5	33	12	4	34	2	2	1	12
30代	236	9	45	13	20	3	9	42	15	3	21	4	1	2	13
40代	232	7	32	21	28	4	8	40	17	1	14	7	-	3	18
50代	251	9	30	19	23	6	11	29	19	2	9	7	0	14	20
60代以上	163	3	37	13	20	13	12	30	18	2	10	12	-	13	15
年齢・性別															
20代・男性	50	17	38	13	17	4	13	24	6	8	32	-	4	-	24
30代・男性	123	6	39	18	20	3	12	41	15	2	21	6	1	-	15
40代・男性	129	10	33	19	25	4	10	44	22	2	10	3	-	1	19
50代・男性	112	11	26	18	29	6	9	34	14	4	10	8	1	8	21
60代以上・男性	103	3	40	13	17	13	14	37	17	2	8	11	-	12	14
20代・女性	102	6	42	25	28	-	-	37	15	2	35	3	1	1	6
30代・女性	113	12	51	8	20	3	6	42	15	4	20	3	1	4	12
40代・女性	103	5	30	24	32	3	6	34	12	-	19	12	-	6	17
50代・女性	139	8	33	20	19	6	13	24	22	1	8	6	-	18	20
60代以上・女性	60	3	33	14	25	14	8	18	20	2	13	13	-	15	18
居住区															
門司区	102	8	32	20	28	6	6	39	21	3	12	3	-	7	16
小倉北区	201	12	42	15	17	5	10	30	21	1	19	5	1	3	18
小倉南区	209	8	35	20	21	9	5	38	12	2	19	8	-	6	14
若松区	91	7	38	21	25	3	6	44	13	1	10	10	-	7	15
八幡東区	60	2	42	17	17	6	17	28	15	-	18	5	2	7	25
八幡西区	298	7	33	11	29	5	14	33	16	3	18	6	1	8	15
戸畑区	73	8	36	26	18	4	8	36	12	5	10	10	1	10	15
居住地															
市街化区域(街なか)	574	8	39	18	20	3	11	32	19	2	17	5	1	6	17
市街化区域(その他)	445	7	32	17	27	8	8	39	13	2	16	8	0	7	14
市街化調整区域	15	20	50	-	10	20	-	40	7	-	20	7	-	-	27
市内居住歴															
生まれたときから	269	6	36	16	25	5	12	42	12	2	16	6	-	5	17
5年未満	143	8	40	19	21	4	9	34	21	3	27	2	3	3	8
5~10年未満	96	26	37	12	21	-	5	26	22	4	20	4	1	3	19
10~20年未満	145	2	34	23	24	-	16	29	16	3	15	10	1	10	17
20年以上	381	8	36	17	22	9	6	35	17	1	13	8	-	8	18
職業															
正規雇用	380	10	29	20	28	4	8	41	19	2	15	6	1	4	13
非正規雇用	61	15	32	24	15	6	9	33	16	5	16	10	-	5	15
パート・アルバイト等	120	7	43	18	17	7	8	33	13	3	16	11	-	7	18
自営業主	104	9	36	14	21	6	14	33	15	4	17	5	-	4	21
家族従事者	11	-	33	-	50	-	17	18	-	-	-	-	-	36	45
主婦	199	4	37	14	27	5	11	36	17	2	14	5	1	10	17
学生	33	-	71	14	14	-	-	18	6	6	48	-	3	-	15
無職(その他)	114	5	47	15	15	11	7	22	17	2	20	9	-	11	19
家族構成															
単身世帯	148	16	48	16	13	2	5	26	17	3	28	5	2	3	14
夫婦だけ	231	7	30	16	25	7	13	29	23	1	14	8	-	11	13
二世代(子20歳未満)	275	6	36	18	26	5	9	45	16	2	13	5	1	3	15
二世代(子20歳以上)	290	8	37	19	22	5	9	32	12	2	18	8	-	8	21
三世代(親と子と孫)	61	3	36	10	26	13	10	46	18	3	8	3	-	7	15
住宅															
持ち家(一戸建)	449	6	32	16	26	8	11	44	12	1	11	6	-	10	17
持ち家(集合住宅)	186	7	39	18	21	4	11	22	37	2	9	2	-	10	19
民間賃貸(一戸建)	34	14	41	14	23	5	5	32	6	26	15	6	-	3	12
民間賃貸(集合住宅)	254	13	48	15	17	1	6	29	15	2	37	4	1	1	12
公営・公社・UR賃貸	71	9	31	31	13	3	13	28	10	4	6	30	-	1	21
給与住宅	32	-	22	33	33	-	11	47	9	-	16	3	13	-	9

※1:その他・不明を除くため合計は100%にならない ※2:その他・不明を除くため合計は1,034にならない
 ※3:表2-2-(1)の1~3の回答者を対象としている

(2) 住宅資産価値の重視

上記の問いに対し持ち家を選びたいと回答した人に、「家や土地の購入を検討する場合、不動産としての資産価値を重視しますか。」とたずねたところ、「ある程度重視する」が最も多く、「かなり重視する」を合わせて約2/3が資産価値を重視している。

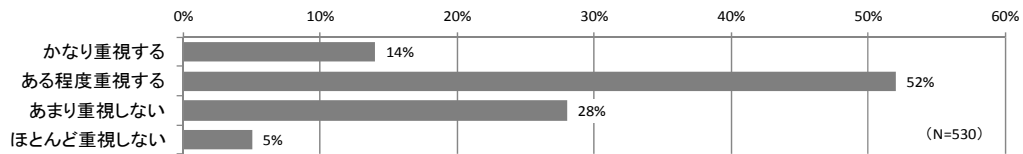


図2-3-(2) 住宅購入時の資産価値の重視

市街化区域では、街なかとそれ以外の場所による差はほとんどみられない。市街化調整区域では、サンプル数が少ないが、資産価値を重視する傾向は市街化区域よりも強い。

行政区別にみると、「かなり重視する」と「ある程度重視する」を合わせると小倉北区が最も高い。ただし「かなり重視する」の回答率は、戸畑区、若松区、門司区が比較的高い。

「かなり重視する」は男性の方が多く、とりわけ20代男性では約1/3を占める。「ある程度重視する」を合わせると女性の方が多く、とりわけ30代女性では8割を超える。

年齢が若いほど、また市内居住歴が短いほど、資産価値を重視する傾向がみられる。

また、持ち家よりも賃貸住宅等の居住者の方が資産価値を重視する傾向が強く、所有・取得経験のない人の方が資産価値への関心が高いことがわかる。

(3) 選びたい住宅の条件

住み替えることになった場合、選びたい住宅の条件として、「日照やプライバシー」「騒音」「眺望」「建物の外観のデザイン」及び「自然災害に対する安全性」について、どの程度重視するかをたずねた。

その結果、重視度が最も高いのは「自然災害に対する安全性」であり、「かなり重視するので、満足できる物件しか選ばない」が約6割を占める。

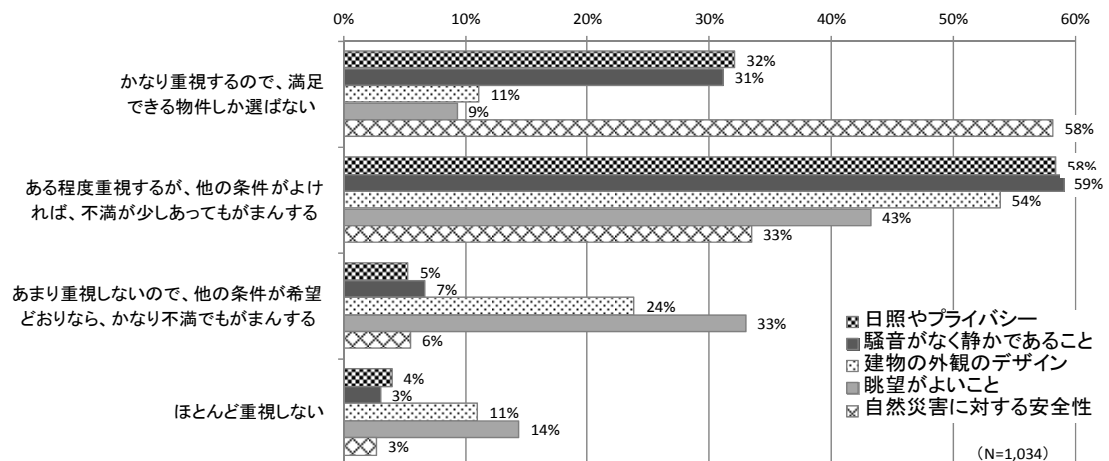


図2-3-(3) 住宅を選ぶとき重視すること

表 2-3-(2)(3) アンケート集計表(5)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1															
		2-3-(2) 住宅購入時の資産価値の重視 ※3				2-3-(3) 住宅を選ぶとき重視すること											
						日照・プライバシー				騒音がないことや静かさ				住宅の外観やデザイン			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
合計・平均	1,034	14	52	28	5	32	58	5	4	31	59	7	3	11	54	24	11
性別																	
男性	517	14	48	30	7	27	59	8	6	31	57	7	5	9	48	26	17
女性	517	13	57	27	2	37	57	3	2	32	61	6	1	13	59	22	5
年齢																	
20代	152	22	57	21	-	22	68	6	5	27	57	13	3	11	51	28	11
30代	236	15	62	20	3	31	62	4	3	28	62	6	3	11	57	26	6
40代	232	14	51	28	5	30	61	3	5	27	63	4	5	10	53	23	13
50代	251	10	50	33	7	35	57	4	3	34	59	5	2	10	53	24	13
60代以上	163	10	36	45	8	42	42	10	6	40	51	7	2	14	53	19	13
年齢・性別																	
20代・男性	50	33	47	20	-	20	56	12	12	30	48	14	8	4	36	40	20
30代・男性	123	13	59	22	6	24	67	7	2	24	62	9	5	8	51	31	10
40代・男性	129	18	48	26	7	27	62	4	7	26	63	5	7	10	48	24	18
50代・男性	112	11	48	33	7	24	65	7	4	34	58	5	3	8	48	23	21
60代以上・男性	103	9	36	44	9	37	43	13	8	41	50	7	3	13	51	17	18
20代・女性	102	19	60	21	-	23	74	3	1	25	61	13	1	14	59	22	6
30代・女性	113	17	66	17	-	38	58	1	3	33	63	4	1	14	64	20	2
40代・女性	103	9	55	32	2	34	60	3	2	29	64	4	2	11	60	21	7
50代・女性	139	9	52	32	6	45	51	2	2	35	60	5	1	12	57	24	6
60代以上・女性	60	13	35	48	4	50	40	7	3	38	53	7	2	17	57	22	5
居住区																	
門司区	102	16	52	26	5	31	62	3	4	28	63	7	2	11	52	29	8
小倉北区	201	13	63	19	2	29	61	3	5	30	60	4	4	12	53	22	12
小倉南区	209	11	53	31	4	33	60	5	2	31	59	8	2	12	55	27	6
若松区	91	17	37	40	6	42	51	8	-	37	59	2	1	15	58	18	9
八幡東区	60	12	46	31	12	40	45	8	7	45	45	8	2	8	58	25	8
八幡西区	298	14	50	31	5	28	61	6	5	27	60	8	4	9	52	23	15
戸畑区	73	17	54	23	6	37	52	7	4	34	56	7	3	10	53	22	15
居住地																	
市街化区域(街なか)	574	14	53	27	5	32	59	5	4	30	60	7	3	11	53	24	12
市街化区域(その他)	445	13	51	31	5	33	58	5	3	33	59	7	2	11	55	24	9
市街化調整区域	15	29	43	29	-	20	53	13	13	33	47	7	13	13	40	20	27
市内居住歴																	
生まれたときから	269	12	50	31	8	31	58	7	4	32	57	8	3	10	50	24	15
5年未満	143	23	56	19	1	32	58	6	4	28	59	11	2	14	52	27	8
5~10年未満	96	15	65	15	2	28	58	4	9	31	59	3	6	14	60	15	11
10~20年未満	145	12	60	25	3	34	60	3	2	35	57	6	2	10	60	19	11
20年以上	381	12	47	35	5	33	58	5	3	30	62	5	3	10	53	27	9
職業																	
正規雇用	380	14	55	27	5	28	64	5	3	30	59	7	4	10	53	26	10
非正規雇用	61	17	43	33	7	28	64	5	3	28	62	8	2	13	56	23	8
パート・アルバイト等	120	16	50	30	4	40	50	6	4	41	47	8	5	10	53	24	13
自営業主	104	14	46	28	8	36	55	7	3	35	58	5	3	13	53	19	15
家族従事者	11	-	100	-	-	27	55	18	-	9	82	9	-	-	64	27	9
主婦	199	9	59	30	1	39	56	1	3	30	64	5	1	17	59	21	3
学生	33	63	-	38	-	21	58	9	12	30	55	9	6	9	52	15	24
無職(その他)	114	16	48	25	11	26	56	10	8	25	64	7	4	6	46	28	19
家族構成																	
単身世帯	148	21	41	33	5	30	59	6	5	31	53	11	5	14	50	22	14
夫婦だけ	231	10	56	31	2	39	54	4	3	32	62	4	2	13	54	25	8
親と子(20歳未満)	275	16	57	25	1	31	61	3	4	29	61	7	2	12	60	20	8
親と子(20歳以上)	290	9	50	32	9	29	60	7	5	29	61	7	3	7	50	28	14
親と子と孫	61	15	54	21	10	30	62	8	-	43	51	3	3	15	62	18	5
住宅																	
持ち家(一戸建)	449	13	49	32	6	33	56	7	4	36	56	6	2	10	54	24	12
持ち家(集合住宅)	186	13	53	30	2	36	58	2	4	28	64	6	2	15	55	23	8
民間賃貸(一戸建)	34	-	77	15	8	32	65	3	-	35	62	3	-	9	76	9	6
民間賃貸(集合住宅)	254	18	55	25	2	30	61	4	6	29	59	6	6	10	54	24	13
公営・公社・UR賃貸	71	19	48	19	15	31	59	6	4	25	59	14	1	8	48	31	13
給与住宅	32	11	61	17	6	16	72	9	-	13	72	9	3	13	47	28	9

※1:その他・不明を除くため合計は100%にならない ※2:その他・不明を除くため合計は1,034にならない

※3:表2-3-(1)の1~2の回答者を対象としている

次いで、重視度が高いのは「日照やプライバシー」「騒音がなく静かであること」であり、以上の3条件については、「あまり重視しない」「ほとんど重視しない」という回答は1割に満たない。住宅価格、家賃、交通などの諸条件がいくら希望どおりでも、「自然災害に対する安全性」「日照やプライバシー」及び「騒音」の3条件に問題があれば、選ばれる可能性は小さいといえる。

一方、「眺望」「建物の外観のデザイン」については、「かなり重視する」は1割程度であり、他の諸条件次第で「不満があってもがまんする」という回答が多い。

「自然災害に対する安全性」については、女性の方が男性よりも重視度が高く、また年齢が高いほど、市内居住年数が長いほど重視傾向にある。また、主婦、パート・アルバイト、夫婦だけの世帯、持ち家（集合住宅）の居住者等の重視度が高い。

「日照やプライバシー」については、女性の方が男性よりも重視度が高く、また、年齢が高いほど重視する傾向にある。また、主婦、パート・アルバイト、夫婦だけの世帯、持ち家（集合住宅）の居住者等の重視度が高く、「自然災害に対する安全性」の結果と似た傾向がみられる。また、若松区、八幡東区で「かなり重視する」の回答率が高い。

「騒音」については、男女差は小さいが、これも、年齢が高いほど重視する傾向がみられる。集合住宅よりも戸建て住宅の居住者の方が重視度が高く、また「日照やプライバシー」と同様に、若松区、八幡東区で「かなり重視する」の回答率が高い。

「建物の外観のデザイン」については、女性の方が重視度が比較的高く、世代間の差はあまりない。また、主婦や持ち家（集合住宅）の居住者等の重視度が比較的高い。

「眺望」については、男女差は小さいが、年齢が高いほど重視する傾向にあり、また、単身世帯や持ち家（集合住宅）の居住者等の重視度が比較的高い。

(4) 住宅周辺の望ましい土地利用

「住宅を選ぶとき、周辺の土地はどのような場所として利用されているのがよいと思いますか。」という問いに対して、最も多かったのは「住宅専用」、次いで「住宅が大部分、一部が商業」「住宅と商業が共存」「住宅と農地や自然地が共存」の順となっている。

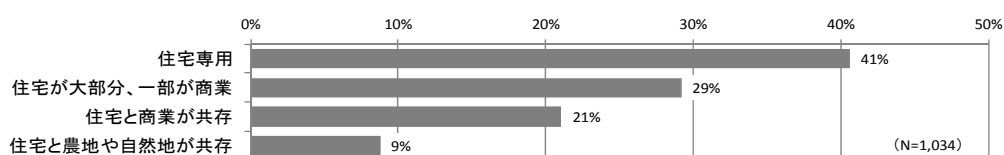


図 2-3-(4) 住宅周辺の望ましい土地利用

年齢が若いほど、市内居住年数が短いほど「住宅専用」を望む傾向にある。男女差はあまりみられないが、30代男性、40代女性でその傾向が強い。また、門司区、正規雇用者、子どもがいる世帯、一戸建て住宅の居住者等で、その傾向が比較強い。

一方、「住宅と商業が共存」を望む傾向は20代と50代以上で比較強く、20代では男女とも約1/3が住商共存を望ましいと感じている。また、街なか、小倉北区、戸畑区、自営業主、学生、単身世帯、公営・公社・UR賃貸、給与住宅の居住者等で、その傾向が比較強い。

表 2-3-(3)(4) アンケート集計表(6)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1																				
		2-3-(3) 住宅を選ぶとき重視すること								2-3-(4) 住宅周辺の望ましい土地利用												
		眺望				自然災害に対する安全性																
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4									
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4									
		できる物件しか選ばない	かなり重視するので、満足	しあつてもがまんする	ある程度重視するが、他の条件がよければ、不満が少	かなり不満でもがまんする	の条件が希望どおりなら、他	あまり重視しないので、他	ほとんど重視しない	ほとんど重視しない	かなり重視するので、まっ	たたく不安のない物件しか	選ばない	かなり重視するが、他の条件がよければ、不安が少	しあつてもがまんする	ある程度重視しないので、他	あまり重視しない	ほとんど重視しない	住宅専用	住宅が大部分で、一部が商業	住宅と商業が共存	住宅と農地や自然地が共存
合計・平均	1,034	9	43	33	14	58	33	6	3	41	29	21	9									
性別																						
男性	517	9	41	33	17	50	39	7	4	42	28	22	8									
女性	517	10	45	32	12	66	28	4	2	40	30	20	10									
年齢																						
20代	152	5	35	38	22	47	40	10	3	42	17	34	7									
30代	236	7	43	39	11	52	39	7	3	45	30	12	13									
40代	232	8	43	33	16	52	38	6	3	42	32	18	7									
50代	251	11	47	29	14	68	27	3	2	37	33	23	7									
60代以上	163	15	47	26	12	72	21	3	3	37	30	24	9									
年齢・性別																						
20代・男性	50	6	30	40	24	30	48	16	6	44	8	34	14									
30代・男性	123	6	41	40	13	40	49	8	3	49	28	16	7									
40代・男性	129	7	40	33	20	47	43	5	5	37	35	21	6									
50代・男性	112	11	40	31	18	56	36	5	3	43	29	21	8									
60代以上・男性	103	13	50	25	12	72	21	4	3	36	31	25	8									
20代・女性	102	5	37	37	21	55	36	7	2	41	22	33	4									
30代・女性	113	9	45	38	8	65	28	5	2	42	33	7	19									
40代・女性	103	9	47	33	11	59	33	6	1	48	28	15	9									
50代・女性	139	12	52	27	10	77	21	1	1	32	36	25	6									
60代以上・女性	60	20	40	27	13	73	22	2	3	38	28	22	12									
居住地																						
門司区	102	13	44	32	11	58	36	3	3	46	27	20	7									
小倉北区	201	11	42	32	14	54	33	9	3	37	28	28	7									
小倉南区	209	7	42	40	11	57	34	5	3	42	32	15	11									
若松区	91	12	53	26	9	58	36	5	-	44	27	20	9									
八幡東区	60	10	43	33	13	60	28	8	3	40	32	18	8									
八幡西区	298	7	40	34	19	61	33	3	3	40	30	20	10									
戸畑区	73	11	51	22	16	59	32	7	3	40	25	29	7									
居住地																						
市街化区域(街なか)	574	10	44	32	14	57	34	7	3	37	30	25	8									
市街化区域(その他)	445	9	43	34	14	60	34	4	2	45	29	16	10									
市街化調整区域	15	7	33	27	33	67	13	7	13	47	20	13	13									
市内居住歴																						
生まれたときから	269	10	38	34	17	57	33	6	4	38	28	23	12									
5年未満	143	9	43	34	13	52	38	9	1	48	24	19	10									
5~10年未満	96	9	39	33	19	53	31	7	8	48	22	21	8									
10~20年未満	145	8	46	32	14	58	38	3	1	40	32	19	8									
20年以上	381	9	47	32	12	62	31	5	2	38	33	22	7									
職業																						
正規雇用	380	8	46	34	11	55	36	7	2	45	27	20	8									
非正規雇用	61	13	43	34	10	57	34	7	2	30	39	23	8									
パート・アルバイト等	120	11	43	33	13	67	24	4	5	41	25	23	11									
自営業主	104	11	35	34	21	55	38	7	1	31	32	31	7									
家族従事者	11	-	36	36	27	55	45	-	-	45	27	9	18									
主婦	199	10	47	29	14	66	27	6	2	42	34	15	9									
学生	33	9	24	36	30	42	45	6	6	33	21	30	15									
無職(その他)	114	8	42	32	18	54	38	2	6	38	30	22	10									
家族構成																						
単身世帯	148	16	32	35	17	49	37	10	4	31	25	32	11									
夫婦だけ	231	11	48	29	12	69	26	3	2	40	33	20	7									
二世帯(子20歳未満)	275	7	45	35	13	58	32	7	2	49	28	12	11									
二世帯(子20歳以上)	290	7	43	33	17	55	38	4	4	36	31	26	8									
三世帯(親と子と孫)	61	8	51	33	8	54	41	5	-	44	30	20	7									
住宅																						
持ち家(一戸建)	449	9	43	35	13	60	33	4	2	46	28	17	10									
持ち家(集合住宅)	186	15	50	23	13	66	28	5	1	34	36	23	7									
民間賃貸(一戸建)	34	3	53	35	9	44	53	-	3	47	41	9	3									
民間賃貸(集合住宅)	254	7	35	39	18	52	35	9	4	37	29	22	11									
公営・公社・UR賃貸	71	11	46	30	13	59	32	4	4	35	21	37	7									
給与住宅	32	-	53	31	13	50	34	13	-	41	16	38	3									

※1: その他・不明を除くため合計は100%にならない ※2: その他・不明を除くため合計は1,034にならない

(5) 選びたい居住地の条件

「住む場所を選ぶとき、あなたはどのような条件を重視したいですか。」という問いに対し、順位をつけて3つの回答を求めた。その結果、1～3位までを合わせて、「日常の買い物が便利」が最も多く、ほぼ並んで「公共交通が利用しやすい」が多い。次いで「医療機関が利用しやすい」「自然災害が少ない」の順となっており、現居住地の「良いところ」(2-1)と同様の条件が上位に選ばれている。ただし、現居住地に対する評価と比較して、日常の買い物や公共交通利便性への期待度はかなり高く、一方、「医療機関」や「自然災害」についてはそれほどでもない。また、1位についてみると、「街並み、家並みの雰囲気が良い」「買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が近い」が「医療機関」よりも多くなっている。安全や安心は居住地選択の基礎的な条件であるが、そのような条件は市内全域的にかなり充足されてきたことから、街の美観や雰囲気、楽しさといった付加的な条件が重視されるようになってきたと思われる。

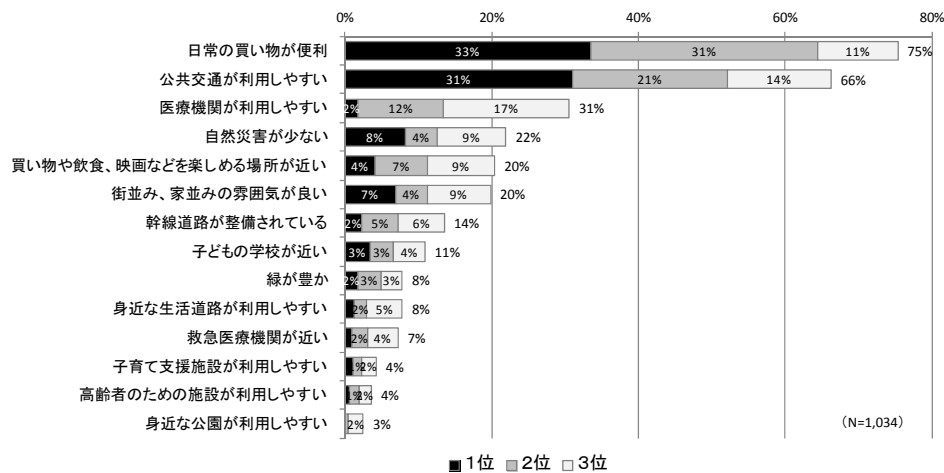


図2-3-(5) 住み替え場所を選ぶとき、重視すること

1～3位までを合わせた結果についてみていくと、回答数が多かった「日常の買い物便利」については、50代女性、非正規雇用者、学生、小倉北区、八幡東区の居住者等で、また、「公共交通が利用しやすい」については、20代、街なか、小倉北区、小倉南区、戸畑区、非正規雇用者、学生、単身世帯、子どもがいる世帯、集合住宅の居住者等の回答率が比較的高い。

次いで多かった「医療機関が利用しやすい」については60代以上の男性、50代以上の女性、門司区、主婦、無職、持ち家(集合住宅)等で、「自然災害が少ない」については50代以上の女性、小倉南区、若松区、主婦、夫婦だけの世帯、持ち家(一戸建)の居住者等で、「買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が近い」については、20代、街なか、戸畑区、学生、単身世帯等で、さらに、1位に選んだ人が比較的多かった「街並み、家並みの雰囲気が良い」については、20代男性、40代女性、門司区、若松区、非正規雇用者等の回答率が比較的高い。

表2-3-(5) アンケート集計表(7)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1															
		2-3-(5) 住み替え場所を選ぶとき、重視すること (1位)															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		筑鉄(JR)が利用しやすい	公共交通(バス、モノレール、幹線道路が整備されている)	日常の買い物が便利	買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が近い	医療機関が利用しやすい	高齢者のための施設が利用しやすい	救急医療機関が近い	子どもの学校が近い	子育て支援施設(保育所、学童保育など)が利用しやすい	身近な生活道路が利用しやすい	身近な公園が利用しやすい	自然災害が少ない	緑が豊か	街並み、家並みの雰囲気が良い	その他	あてはまるものはない
合計・平均	1,034	31	2	33	4	2	1	1	3	1	1	-	8	2	7	1	2
性別																	
男性	517	29	3	32	6	2	0	1	3	1	1	-	7	2	8	2	3
女性	517	33	2	35	3	2	1	1	3	1	2	-	10	1	6	1	0
年齢																	
20代	152	42	1	32	5	-	-	-	3	1	1	-	5	1	9	1	1
30代	236	30	3	28	4	1	-	1	8	4	1	-	8	2	7	3	2
40代	232	29	3	36	3	2	1	1	5	-	2	-	6	3	6	1	2
50代	251	33	2	35	3	2	-	-	0	0	2	-	12	1	7	1	2
60代以上	163	23	2	38	7	5	2	4	-	-	-	-	10	1	6	1	1
年齢・性別																	
20代・男性	50	46	2	30	6	-	-	-	2	-	-	-	2	-	12	-	-
30代・男性	123	29	4	24	7	1	-	1	8	2	1	-	5	2	8	4	4
40代・男性	129	27	4	37	4	2	1	1	5	-	-	-	7	5	5	1	3
50代・男性	112	30	2	30	4	3	-	-	1	1	3	-	11	2	10	1	4
60代以上・男性	103	23	2	37	10	5	1	5	-	-	-	-	7	1	7	1	2
20代・女性	102	40	1	33	4	-	-	-	3	1	1	-	6	2	7	1	1
30代・女性	113	31	2	31	1	1	-	1	7	5	2	-	11	2	6	1	-
40代・女性	103	31	1	34	2	2	2	1	6	-	4	-	5	2	8	2	1
50代・女性	139	35	3	38	3	1	-	-	-	-	1	-	12	-	5	1	-
60代以上・女性	60	22	2	40	3	5	5	2	-	-	-	-	17	2	3	-	-
居住地																	
門司区	102	28	-	39	4	2	2	1	2	1	2	-	5	3	6	2	3
小倉北区	201	34	1	35	6	1	-	0	2	1	1	-	6	2	6	1	1
小倉南区	209	34	3	29	3	2	-	2	3	0	0	-	11	2	6	2	2
若松区	91	24	2	31	2	1	2	-	3	-	2	-	11	2	15	1	2
八幡東区	60	33	3	33	-	2	3	-	8	-	-	-	5	2	10	-	-
八幡西区	298	30	3	33	4	2	0	1	4	1	2	-	9	1	6	1	2
戸畑区	73	29	3	40	7	1	-	-	1	4	-	-	8	-	5	1	-
居住地																	
市街化区域(街なか)	574	33	2	36	5	1	1	1	3	2	1	-	6	1	6	1	2
市街化区域(その他)	445	29	3	31	4	3	0	1	4	0	2	-	11	2	7	2	1
市街化調整区域	15	20	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	20	-	20
市内居住歴																	
生まれたときから	269	30	1	33	4	2	0	0	4	0	3	-	10	3	6	1	2
5年未満	143	45	4	24	4	1	-	1	2	2	-	-	6	1	8	1	1
5~10年未満	96	31	4	30	3	1	-	-	4	5	-	-	6	1	6	3	4
10~20年未満	145	34	1	34	3	1	1	-	6	1	1	-	8	3	7	1	-
20年以上	381	25	2	38	5	3	1	2	2	0	1	-	9	1	8	1	2
職業																	
正規雇用	380	32	4	30	4	1	0	1	5	1	2	-	7	2	7	2	3
非正規雇用	61	38	2	28	3	2	-	-	2	-	2	-	8	-	15	2	-
パート・アルバイト等	120	37	1	35	-	2	1	3	-	2	2	-	6	2	8	3	1
自営業主	104	28	3	38	5	1	-	1	3	-	-	-	9	4	9	-	1
家族従事者	11	-	-	55	9	-	-	-	9	-	-	-	27	-	-	-	-
主婦	199	26	2	37	4	3	1	1	6	1	1	-	12	2	7	-	-
学生	33	48	-	30	9	-	-	-	-	-	-	-	3	3	3	-	3
無職(その他)	114	29	2	37	6	5	3	3	1	-	-	-	8	-	4	1	2
家族構成																	
単身世帯	148	34	4	32	5	-	1	-	-	-	-	-	6	1	9	2	5
夫婦だけ	231	31	2	33	6	3	1	1	0	-	0	-	10	1	8	1	1
二世帯(子20歳未満)	275	27	3	29	3	1	-	0	12	4	2	-	7	3	7	2	1
二世帯(子20歳以上)	290	35	1	37	4	1	1	1	-	0	1	-	10	1	6	1	1
三世帯(親と子と孫)	61	21	3	41	3	3	3	2	2	-	2	-	7	2	8	-	3
住宅																	
持ち家(一戸建)	449	26	3	34	2	3	1	1	4	1	1	-	11	2	7	1	2
持ち家(集合住宅)	186	39	1	30	8	2	1	2	1	-	2	-	7	2	6	-	1
民間賃貸(一戸建)	34	18	-	44	6	-	-	-	3	-	-	-	3	-	18	6	3
民間賃貸(集合住宅)	254	33	4	33	4	2	-	-	4	2	1	-	5	1	7	2	2
公営・公社・UR賃貸	71	39	-	35	3	-	-	3	1	-	3	-	6	3	4	-	3
給与住宅	32	34	3	38	9	-	-	-	3	-	-	-	9	-	-	3	-

※1:複数回答のため合計は100%にならない ※2:その他・不明を除くため合計は1,034にならない

表2-3-(5) アンケート集計表(8)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1														
		2-3-(5) 住み替え場所を選ぶとき、重視すること (1~3位計)														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		筑鉄公共交通(JR)が利用しやすい	幹線道路が整備されている	日常の買い物が便利	買い物や飲食、映画などを楽しめる場所が近い	医療機関が利用しやすい	高齢者のための施設が利用しやすい	救急医療機関が近い	子どもの学校が近い	子育て支援施設(保育所、学童保育など)が利用しやすい	身近な生活道路が利用しやすい	身近な公園が利用しやすい	自然災害が少ない	緑が豊か	街並み、家並みの雰囲気が良い	その他
合計・平均	1,034	66	14	75	20	31	4	7	11	4	8	3	22	8	20	2
性別																
男性	517	63	18	73	22	27	5	8	10	3	8	3	19	9	20	2
女性	517	69	9	78	19	34	3	6	11	5	8	2	25	6	20	3
年齢																
20代	152	80	9	78	32	25	-	5	9	7	7	3	15	5	20	1
30代	236	55	12	73	21	23	1	8	22	11	10	4	21	6	22	5
40代	232	66	17	75	19	27	3	6	15	2	8	2	17	9	22	3
50代	251	71	17	78	16	34	4	8	4	1	7	2	27	9	17	1
60代以上	163	63	9	72	19	46	11	10	1	1	7	2	28	10	17	1
年齢・性別																
20代・男性	50	80	16	78	42	14	-	10	6	4	10	2	8	6	24	-
30代・男性	123	53	15	70	26	21	2	8	18	9	10	3	19	5	22	7
40代・男性	129	66	24	75	19	24	3	6	15	2	6	2	16	11	19	2
50代・男性	112	63	21	75	15	27	4	8	7	2	9	3	24	13	17	1
60代以上・男性	103	64	11	68	17	44	13	10	2	-	7	4	24	11	19	1
20代・女性	102	80	6	78	27	30	-	3	11	8	6	3	19	4	19	2
30代・女性	113	57	9	76	15	26	-	7	27	12	10	4	23	8	22	4
40代・女性	103	67	9	76	18	30	4	5	15	3	10	3	19	7	26	5
50代・女性	139	78	13	81	16	40	3	7	1	1	6	1	30	5	17	1
60代以上・女性	60	60	7	78	22	50	8	12	-	2	7	-	35	8	12	-
居住地																
門司区	102	66	10	67	20	42	5	6	9	3	7	-	21	12	24	2
小倉北区	201	73	17	81	23	26	1	5	9	4	6	2	19	5	20	2
小倉南区	209	71	14	71	17	27	4	9	8	5	10	2	27	9	16	3
若松区	91	63	12	78	14	25	4	5	12	-	8	2	26	11	31	1
八幡東区	60	63	8	82	10	35	8	5	17	7	10	5	13	12	18	5
八幡西区	298	59	14	74	22	34	4	8	13	4	8	3	22	7	18	2
戸畑区	73	71	12	78	30	26	1	11	14	7	5	1	18	3	21	1
居住地																
市街化区域(街なか)	574	70	14	77	23	30	3	8	9	5	6	2	18	6	19	2
市街化区域(その他)	445	62	14	73	17	31	4	6	13	4	10	3	27	10	21	3
市街化調整区域	15	40	-	60	7	47	-	-	7	7	-	-	33	13	27	-
市内居住歴																
生まれたときから	269	65	12	75	23	28	4	7	13	3	10	3	24	10	16	2
5年未満	143	73	13	72	24	27	1	10	10	9	13	3	16	3	20	3
5~10年未満	96	66	14	78	21	27	-	5	14	11	4	4	13	4	21	5
10~20年未満	145	61	13	80	25	31	3	2	13	4	5	2	22	8	27	3
20年以上	381	67	15	74	15	34	6	9	8	1	7	2	25	9	20	2
職業																
正規雇用	380	66	17	72	20	24	3	6	13	6	9	3	21	9	19	3
非正規雇用	61	80	15	82	13	26	-	5	5	5	10	2	21	5	26	3
パート・アルバイト等	120	74	8	79	21	29	3	10	5	5	8	1	21	8	23	3
自営業主	104	63	23	72	21	28	6	7	6	1	8	3	21	16	19	1
家族従事者	11	73	18	73	9	27	-	9	18	-	-	-	45	9	9	9
主婦	199	59	8	79	21	38	3	8	19	5	8	3	26	4	20	1
学生	33	85	9	82	33	30	-	3	-	-	3	-	21	6	15	3
無職(その他)	114	64	10	75	20	46	10	11	4	1	6	4	19	7	16	1
家族構成																
単身世帯	148	74	16	74	28	25	2	5	1	1	7	-	16	9	22	3
夫婦だけ	231	66	16	78	23	33	4	8	4	2	6	2	23	7	23	2
二世帯(子20歳未満)	275	57	12	70	16	26	2	8	33	10	10	5	16	5	21	5
二世帯(子20歳以上)	290	72	11	78	20	36	3	7	2	2	6	2	29	10	17	1
三世帯(親と子と孫)	61	59	13	79	16	28	10	8	10	7	8	-	23	11	18	-
住宅																
持ち家(一戸建)	449	59	15	74	16	33	6	7	11	4	9	2	27	10	21	2
持ち家(集合住宅)	186	71	12	77	24	37	3	9	9	2	5	4	18	6	19	-
民間賃貸(一戸建)	34	65	9	76	29	15	-	9	15	6	12	9	15	-	26	6
民間賃貸(集合住宅)	254	72	14	76	22	27	1	6	13	7	6	3	17	4	20	5
公営・公社・UR賃貸	71	72	6	80	25	27	6	10	4	1	14	-	23	13	11	-
給与住宅	32	75	31	69	28	22	-	6	22	6	3	-	16	3	16	3

※1:複数回答のため合計は100%にならない ※2:その他・不明を除くため合計は1,034にならない

(6) 住みたい市区町村

「住むなら、あなたはどの市区町村がよいと思いますか。」という問いに対し、順位をつけて3つの回答を求めた。その結果、1位についてみると、「小倉北区」が最も多く、ほぼ並んで「八幡西区」が次に多く、続いて「小倉南区」「門司区」「戸畑区」「八幡東区」「若松区」「福岡市」の順となっている。1～3位を合わせてると、「小倉北区」が約6割を占め、次いで「八幡西区」「小倉南区」が約4割を占める。また、2位、3位に「八幡東区」を挙げる人が比較的多いことから、1～3位を合わせると「八幡東区」が「門司区」「戸畑区」を上回る。

また、市外は1～3位を合わせても約1割であり、市内での居住意向は強い。

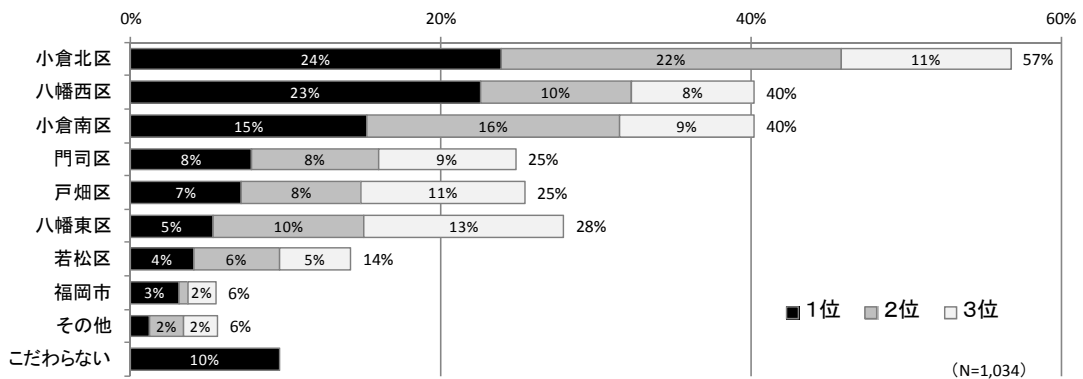


図2-3-(6) 住み替え場所として選みたい市区町村

現在の居住区を選ぶ傾向は強いが、その傾向が最も強いのは小倉北区であり、約8割が1位に「小倉北区」を選んでいる。一方、若松区で1位に「若松区」を選んだ人は約4割である。1～3位までを合わせると、門司区、小倉北区、戸畑区で9割以上、小倉南区、八幡東区、八幡西区で8割以上、若松区では7割以上が、現在の居住区を選んでいる。

1～3位までを合わせて、現在の居住区以外の選択傾向をみていくと、門司区では「小倉北区」「小倉南区」、小倉北区では「小倉南区」、小倉南区では「小倉北区」、若松区では「八幡西区」、八幡東区では「小倉北区」「八幡西区」、八幡西区では「八幡東区」「小倉北区」、戸畑区では「小倉北区」の回答率が比較的高い。

また、回答が最も多かった「小倉北区」の選択傾向が比較的に強いのは、20代女性と60代以上の女性である。

(7) 公共交通の便利な場所での居住意向

① 駅の近くやバス利用ができる場所での居住意向

住む場所を選ぶときに、「JR」「モノレールまたは筑豊電鉄」及び「バス」の利用に関する条件について、どの程度重視するかをたずねた。

その結果、重視度が最も高いのは「バス」であり、「住むなら、バスが利用できる場所がよいと思いますか。」という問いに対して、約1/4が「強くそう思う」と回答し、「そう思う」を合わせて約7割を占める。

表2-3-(6) アンケート集計表(9)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1														2-3-(6) 住み替え場所として選びたい市区町村													
		1位														1~3位計													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
		門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	北九州都市圏	福岡市	その他福岡都市圏	その他県内	その他県外	その他市外	こだわらない	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	北九州都市圏	福岡市	その他福岡都市圏	その他県内	その他県外	その他市外	
合計・平均	1,034	8	24	15	4	5	23	7	0	3	0	-	1	0	10	25	57	40	14	28	40	25	3	6	1	-	2	0	
性別																													
男性	517	9	22	15	4	6	24	8	0	1	1	-	1	0	9	26	54	40	14	27	43	26	2	4	1	-	2	0	
女性	517	7	25	16	4	5	21	6	0	5	-	-	0	-	10	24	60	41	15	29	38	25	3	7	2	-	2	-	
年齢																													
20代	152	6	30	13	2	6	20	7	1	5	-	-	3	-	9	25	63	36	9	37	42	30	2	7	1	-	5	-	
30代	236	8	23	16	3	5	23	7	1	4	1	-	-	-	10	27	52	36	13	30	39	24	3	6	2	-	2	-	
40代	232	8	25	16	3	6	27	5	-	3	0	-	-	-	8	22	59	49	14	28	45	24	3	4	1	-	-	-	
50代	251	8	25	14	6	4	22	8	-	2	-	-	0	0	10	25	57	37	18	22	39	25	1	5	1	-	2	0	
60代以上	163	9	16	18	6	6	20	10	-	3	-	-	1	-	11	26	53	43	15	27	35	26	2	6	1	-	1	-	
年齢・性別																													
20代・男性	50	12	28	4	2	4	22	10	-	-	-	-	6	-	12	28	52	28	8	28	48	34	-	-	-	-	10	-	
30代・男性	123	7	22	15	2	6	28	7	1	2	2	-	-	-	9	25	49	33	11	32	45	26	2	6	2	-	2	-	
40代・男性	129	11	28	16	2	6	24	3	-	1	1	-	-	-	8	26	63	54	12	26	42	23	2	2	1	-	-	-	
50代・男性	112	8	21	16	8	4	21	9	-	2	-	-	-	1	9	27	55	35	19	22	42	25	2	4	-	-	1	1	
60代以上・男性	103	8	15	16	7	7	21	13	-	2	-	-	1	-	12	24	48	41	15	26	41	28	3	5	1	-	1	-	
20代・女性	102	3	30	17	2	7	19	6	1	7	-	-	1	-	8	24	69	39	10	41	39	27	3	10	1	-	2	-	
30代・女性	113	9	25	17	4	4	18	6	1	6	-	-	-	-	11	28	56	41	15	28	33	21	5	7	2	-	3	-	
40代・女性	103	4	22	15	4	6	30	7	-	5	-	-	-	-	8	17	55	42	17	29	49	24	5	8	1	-	-	-	
50代・女性	139	9	27	12	5	4	22	6	-	2	-	-	1	-	12	24	58	39	17	21	37	26	1	5	2	-	3	-	
60代以上・女性	60	12	18	23	3	3	18	7	-	5	-	-	-	-	10	28	63	47	15	28	25	23	2	8	2	-	-	-	
居住地																													
門司区	102	68	15	4	-	-	3	2	-	-	1	-	1	-	7	90	63	54	4	5	13	14	-	2	2	-	3	-	
小倉北区	201	0	82	5	1	0	1	1	-	2	-	-	1	-	5	26	92	53	6	28	17	26	0	5	-	-	3	-	
小倉南区	209	2	12	65	-	1	2	0	0	4	0	-	0	-	11	31	65	83	4	14	13	15	4	8	1	-	2	-	
若松区	91	1	8	1	42	2	18	7	-	9	-	-	-	-	13	14	26	8	73	21	55	26	1	11	2	-	-	-	
八幡東区	60	-	10	-	2	65	7	10	-	2	-	-	-	-	5	7	47	18	7	85	42	48	-	2	2	-	-	-	
八幡西区	298	1	7	2	-	3	68	1	1	3	0	-	0	0	13	7	35	17	15	35	82	15	5	5	2	-	1	0	
戸畑区	73	3	11	3	-	1	1	74	-	1	-	-	1	-	4	12	62	16	11	32	27	93	-	3	-	-	1	-	
市内居住歴																													
市街化区域(街なか)	574	11	36	5	3	7	16	10	-	2	0	-	1	-	9	28	64	34	13	32	35	32	0	4	1	-	2	-	
市街化区域(その他)	445	4	8	29	5	3	32	3	1	4	0	-	0	0	11	21	47	48	17	23	47	17	5	7	2	-	1	0	
市街化調整区域	15	7	27	13	7	-	20	-	-	7	-	-	-	-	20	20	67	40	7	20	33	27	-	7	-	-	-	-	
職業																													
生まれたときから	269	9	22	15	4	7	23	9	-	2	1	-	0	-	9	23	54	39	13	29	43	26	1	3	1	-	1	-	
5年未満	143	5	26	14	3	5	20	8	1	5	-	-	1	-	12	20	57	39	11	31	33	31	5	7	1	-	4	-	
5~10年未満	96	7	26	14	3	5	19	10	-	4	-	-	-	-	11	26	58	38	15	31	41	29	6	5	1	-	-	-	
10~20年未満	145	5	28	12	3	4	29	6	1	2	-	-	1	1	10	25	54	39	14	28	43	27	3	5	1	-	3	1	
20年以上	381	9	23	18	5	5	22	5	0	3	0	-	1	-	9	27	59	43	16	25	39	22	1	7	2	-	1	-	
家族構成																													
正規雇用	380	8	24	15	4	6	27	7	0	2	0	-	-	-	8	23	56	40	15	29	45	29	2	4	0	-	1	-	
非正規雇用	61	15	21	18	2	7	16	8	-	5	-	-	2	-	7	34	57	48	8	25	31	31	3	7	-	-	2	-	
パート・アルバイト等	120	6	25	11	8	4	19	8	-	3	1	-	2	-	14	26	54	33	15	25	38	26	2	7	2	-	3	-	
自営業主	104	11	28	10	4	4	20	10	-	1	1	-	-	-	13	24	58	38	11	31	43	17	5	4	2	-	3	-	
家族従事者	11	27	-	9	-	9	27	-	-	-	-	-	-	-	27	45	55	36	9	18	45	-	9	-	-	-	-	-	
主婦	199	5	23	18	5	8	19	7	1	5	-	-	1	-	11	20	60	42	17	32	36	26	3	6	3	-	2	-	
学生	33	3	21	15	-	3	21	9	-	9	-	-	6	-	12	27	48	36	6	30	36	27	-	12	-	-	15	-	
無職(その他)	114	9	25	19	4	4	24	4	-	4	-	-	-	-	6	31	59	46	16	21	39	18	4	11	2	-	1	-	
住宅																													
単身世帯	148	5	31	10	2	1	22	7	1	3	1	-	2	1	13	28	55	34	11	23	37	26	5	8	3	-	5	1	
夫婦だけ	231	7	22	16	4	8	20	9	0	3	0	-	0	-	9	19	59	38	16	28	40	32	1	6	1	-	1	-	
二世帯(子20歳未満)	275	6	22	18	4	6	27	7	0	1	-	-	-	-	8	23	55	45	16	33	45	22	4	2	1	-	1	-	
二世帯(子20歳以上)	290	11	24	15	4	4	19	6	-	5	-	-	1	-	10	30	58	41	13	26	37	24	1	7	1	-	2	-	
三世帯(親と子と孫)	61	8	15	10	5	8	34	5	-	2	-	-	-	-	13	23	51	39	13	25	48	20	2	7	-	-	-	-	
持ち家(一戸建)	449	8	18	17	6	4	26	7	-	3	0	-	1	0	10	25	49	40	17	24	46	24	2	6	1	-	2	0	
持ち家(集合住宅)	186	12	31	10	2	6	20	9	-	2	-	-	-	-	10	30	65	40	13	28	32	27	1	4	-	-	1	-	
民間賃貸(一戸建)	34	9	15	21	-	6	29	9	3	-	-	-	-	-	9	24	47	41	12	29	38	26	9	3	3	-	-	-	
民間賃貸(集合住宅)	254	5	33	16	2	6	19	6	1	4	1	-	1	-	7	23	66	43	10	32	39	24	4	6	2	-	2	-	
公営・公社・UR賃貸	71	6	23	23	7	6	21	6	-	3	-	-	-	-	7	21	63	42	15	24	37	27	1	7	-	-	-	-	
給与住宅	32	6	19	-	3	9	13	16	-	6	-	-	3	-	25	19	44	19	13	41	31	44	-	6	6	-	3	-	

※1: 複数回答のため合計は100%にならない ※2: その他・不明を除くため合計は1,034にならない

「住むなら、JR駅に近い場所がよいと思いますか。」という問いに対する回答も「バス」の場合とほぼ同様であり、「バス」も「JR」も居住地選択の条件として同じように重視されていることがわかる。

また、「モノレールまたは筑豊電鉄」については、「強くそう思う」「そう思う」を合わせて約3割を占める。

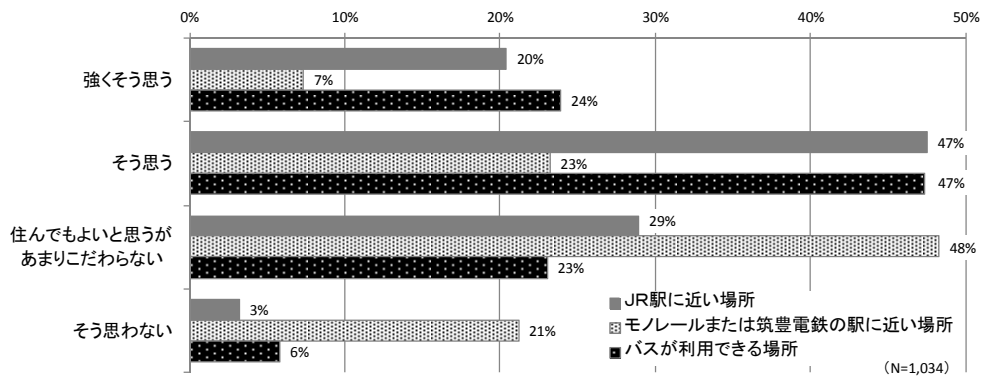


図2-3-(7)-① 駅の近くやバス利用ができる場所での居住意向

公共交通については女性の方が男性よりも重視しており、とりわけバスについて、その傾向が強い。公共交通への依存度が高い学生も必然的に重視傾向が強い。そのほか、「JR駅周辺」については20代、戸畑区、居住歴5年未満等で、「モノレールまたは筑豊電鉄駅」については20代女性、小倉南区等で、また、「バス」については、20代女性、60才以上の女性、小倉北区、戸畑区、パート・アルバイト、主婦等で重視度が高い。

② 選びたい駅周辺地区（JR駅）

さらに、「住むなら、どの駅の近くがよいと思いますか。」という問いかけを行い、順位をつけて3つの回答を求めた。駅周辺の居住希望は、公共交通の利便性だけでなく、駅周辺の街の魅力や住みやすさに関する評価である。

まずJR駅について、1位として選ばれたなかで最も多かったのは「小倉駅」で、約1/3を占め、かなり差があつて「黒崎駅」、「折尾駅」と続く。次いで「戸畑駅」「下曽根駅」「門司駅」「八幡駅」の順で並び、その差は小さい。

1～3位を合わせると、「折尾駅」に対する「黒崎駅」の優位性が高まり、また、「戸畑駅」が「折尾駅」を上回る。また、「八幡駅」の順位も上がり「戸畑駅」「折尾駅」と肩を並べる。

③ 選びたい駅周辺地区（モノレール駅、筑豊電鉄駅）

モノレール駅、筑豊電鉄駅については、上記のJR小倉駅、黒崎駅の周辺部と重ならない区間の主要駅についてたずねた。まず、モノレール駅について、1位として選ばれたなかで最も多かったのは「三萩野駅」、次いで「守恒駅」であった。また、筑豊電鉄駅については、1位として選ばれたなかで最も多かったのは「三ヶ森駅」であるが僅差で「穴生駅」が並ぶ。

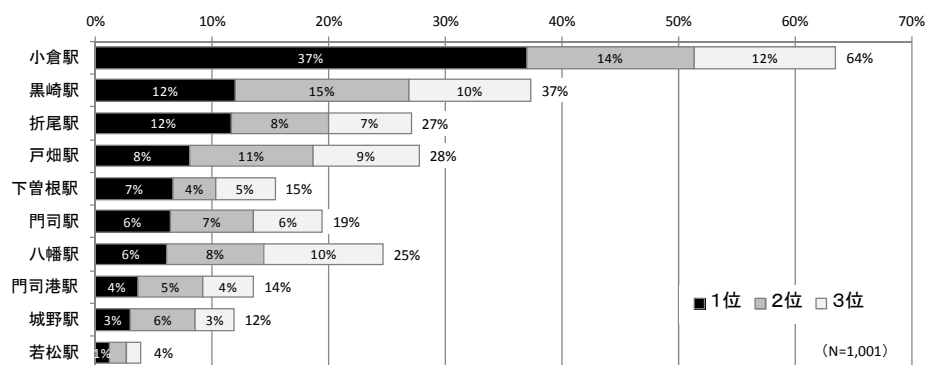


図 2-3-(7)-② 選みたい駅周辺地区 (JR 駅)

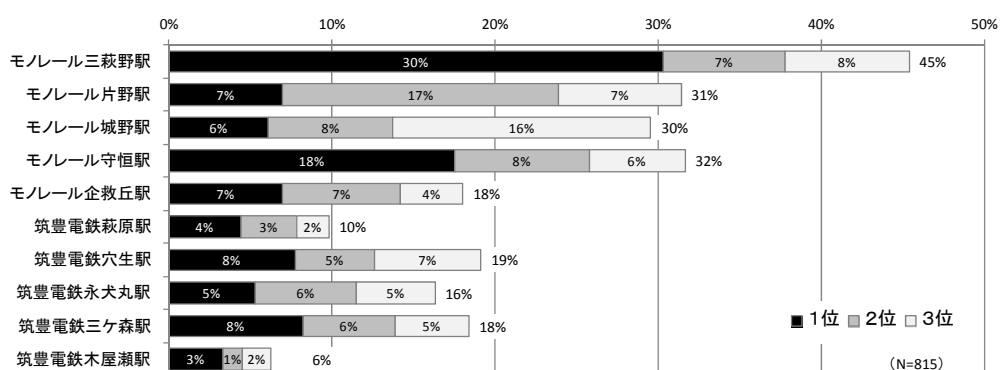


図 2-3-(7)-③ 選みたい駅周辺地区 (モノレール駅・筑豊電鉄駅)

④ バスが利用できる場所に住みたい理由

「バスが利用できる場所に住みたい理由を教えてください」という問いに対して、「高齢になると、車の運転ができなくなるときが来ると思うから」が最も多く、約4割を占める。次いで「マイカーもバスも利用したいから」「自分で車が運転できないから」の順となっている。「運転できない」は女性、「マイカーもバスも利用したい」は男性、また、「経済的理由でマイカーが所有ができなくなるときが来ると思うかもしれない」は30代の回答率が比較的高い。

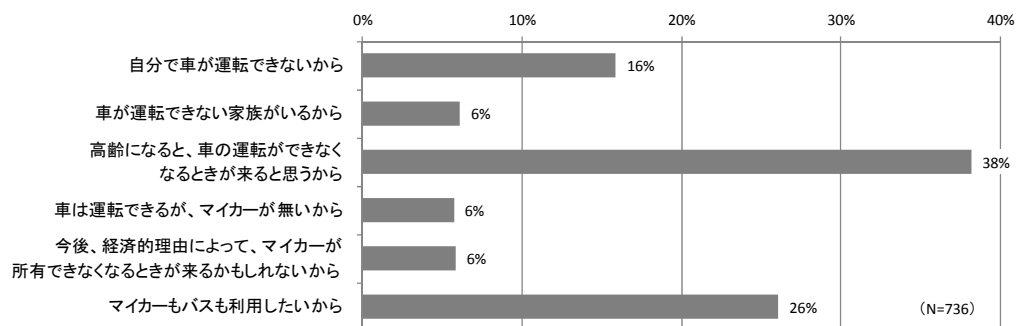


図 2-3-(7)-④ バスが利用できる場所に住みたい理由

表2-3-(7) アンケート集計表(10)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1																										
		2-3-(7) JR駅に近い場所での居住意向																										
		①居住意向				②選みたい駅周辺地区(近くの駅)																						
						1位											1~3位計											
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		強く思う	そう思う	まわりこたわらない	住んでもよいと思うが、あまりこたわらない	そう思わない	門司港駅	門司駅	小倉駅	戸畑駅	八幡駅	黒崎駅	折尾駅	若松駅	城野駅	下曽根駅	その他	門司港駅	門司駅	小倉駅	戸畑駅	八幡駅	黒崎駅	折尾駅	若松駅	城野駅	下曽根駅	その他
合計・平均	1,034	20	47	29	3	4	6	36	8	6	12	11	1	3	6	4	13	19	62	27	24	36	26	4	12	15	9	
性別																												
男性	517	17	47	32	4	3	7	31	8	7	12	13	2	3	7	3	13	19	56	25	22	36	28	4	12	16	7	
女性	517	24	48	26	2	4	5	40	8	5	11	9	0	3	6	6	13	18	67	29	26	37	25	3	11	14	10	
年齢																												
20代	152	34	46	17	3	3	3	47	5	8	11	10	-	3	3	6	11	17	70	30	33	44	32	1	11	9	8	
30代	236	18	49	30	3	2	8	33	8	6	14	11	-	3	8	5	11	20	60	26	28	36	25	4	13	17	8	
40代	232	19	50	29	2	5	6	35	7	7	12	12	1	3	7	2	14	18	63	25	22	41	28	4	10	15	9	
50代	251	19	47	31	3	4	8	36	9	5	10	12	2	3	5	3	18	21	62	28	20	29	24	5	11	13	9	
60代以上	163	15	44	36	6	3	6	31	9	4	11	12	2	2	8	6	10	17	54	26	20	32	22	4	12	20	9	
年齢・性別																												
20代・男性	50	26	48	22	4	6	4	38	8	8	12	12	-	4	-	4	16	20	60	28	30	42	38	2	8	8	6	
30代・男性	123	20	50	26	5	1	7	25	10	6	17	12	-	4	10	3	9	19	53	24	27	38	29	2	13	17	7	
40代・男性	129	18	47	33	3	6	8	36	4	9	9	14	1	4	6	1	16	22	62	26	21	37	26	4	13	16	8	
50代・男性	112	13	52	32	4	2	8	33	6	6	12	13	5	3	6	3	14	21	59	23	19	30	25	8	13	13	10	
60代以上・男性	103	12	40	43	6	3	6	27	11	6	11	15	3	2	9	3	12	15	48	25	18	33	25	5	11	23	5	
20代・女性	102	38	45	15	2	1	2	51	3	8	11	9	-	2	5	7	8	16	75	30	34	45	29	1	12	10	9	
30代・女性	113	17	49	34	1	4	8	41	7	5	10	9	-	3	6	7	13	22	67	28	28	35	20	5	13	18	11	
40代・女性	103	19	54	25	1	4	3	35	12	5	17	10	1	2	9	3	12	12	63	25	22	46	31	5	7	14	11	
50代・女性	139	24	43	29	3	6	7	38	11	4	9	12	-	4	4	3	20	22	64	32	21	29	24	2	9	14	8	
60代以上・女性	60	22	50	23	5	3	7	37	7	2	12	7	2	2	7	12	8	20	65	27	22	30	17	2	15	13	17	
居住地																												
門司区	102	21	50	27	2	21	49	23	2	-	1	-	-	1	-	2	1	55	83	65	10	4	8	7	2	1	16	4
小倉北区	201	19	47	31	2	0	1	78	1	1	-	1	-	0	5	1	6	10	20	88	35	17	26	7	1	20	11	13
小倉南区	209	19	47	29	4	2	4	41	1	2	0	0	-	9	30	5	12	20	67	14	12	11	5	1	33	50	11	
若松区	91	18	51	27	4	4	-	26	11	5	2	29	12	-	-	5	12	7	49	30	27	42	60	25	1	-	7	
八幡東区	60	18	43	33	5	2	-	18	15	50	3	5	-	-	-	2	5	3	50	42	75	45	17	-	2	2	3	
八幡西区	298	21	46	30	3	2	1	16	2	6	38	29	-	-	-	3	5	5	44	16	30	69	55	3	2	2	7	
戸畑区	73	30	49	19	1	-	-	29	64	-	-	1	-	-	-	4	5	5	64	95	33	26	12	3	-	4	10	
市街化区域(街なか)	574	23	48	26	3	4	8	44	11	7	10	6	1	3	1	4	14	22	68	35	26	35	20	4	9	7	8	
市街化区域(その他)	445	18	46	32	4	3	4	26	4	4	13	18	1	3	14	4	12	15	53	16	21	38	34	4	14	25	9	
市街化調整区域	15	13	47	33	7	13	-	33	-	7	20	13	-	7	-	-	20	13	67	20	20	40	13	-	7	13	-	
市内居住歴																												
生まれたときから	269	23	42	31	4	5	7	32	9	6	15	7	1	4	7	3	13	19	61	27	26	38	23	3	11	14	4	
5年未満	143	31	50	17	2	1	3	42	7	6	13	11	1	3	5	6	9	15	64	31	31	38	29	4	10	12	8	
5~10年未満	96	25	51	22	2	2	6	40	13	7	9	11	-	1	6	2	13	20	65	32	30	42	28	2	9	9	9	
10~20年未満	145	19	51	30	1	3	6	41	9	5	10	14	-	3	6	3	13	19	62	26	19	37	32	3	11	14	9	
20年以上	381	14	48	33	4	4	7	33	6	6	10	13	2	3	7	4	15	20	60	24	20	32	25	5	13	18	12	
職業																												
正規雇用	380	21	51	24	4	3	7	32	7	7	12	12	2	4	7	2	12	18	59	29	26	38	27	6	12	14	8	
非正規雇用	61	18	54	28	-	8	8	38	5	8	7	11	-	3	7	5	16	33	64	30	25	30	16	-	10	20	10	
パート・アルバイト等	120	20	47	28	6	3	9	28	12	3	13	10	2	4	5	4	16	18	57	26	23	30	28	4	10	12	8	
自営業主	104	18	36	42	4	7	6	37	13	4	9	16	-	-	2	4	18	22	63	23	14	36	29	1	11	13	7	
家族従事者	11	9	45	45	-	9	18	36	-	-	27	-	-	-	9	-	9	36	82	9	-	45	36	-	-	9	-	
主婦	199	20	51	27	2	2	3	44	8	5	10	10	1	2	8	7	9	16	68	32	28	38	24	4	13	15	10	
学生	33	36	52	9	3	-	3	48	6	9	12	3	-	3	-	12	15	12	70	24	30	36	33	-	9	12	21	
無職(その他)	114	22	37	39	2	5	5	36	4	5	15	12	2	3	9	2	13	17	58	18	21	38	29	4	12	22	9	
家族構成																												
単身世帯	148	19	56	22	3	3	5	43	7	3	11	10	2	3	3	6	16	18	62	28	22	37	28	5	8	7	14	
夫婦だけ	231	18	44	35	2	3	5	40	7	7	10	13	1	3	5	4	11	16	64	29	25	37	25	3	9	13	7	
二世帯(子20歳未満)	275	19	52	26	3	2	7	31	8	8	12	12	1	4	8	4	11	17	57	29	29	38	29	4	13	18	8	
二世帯(子20歳以上)	290	25	41	30	4	6	8	35	7	4	12	10	1	3	6	3	16	24	64	23	21	32	23	3	13	15	8	
三世帯(親と子と孫)	61	18	51	31	-	7	5	31	7	7	18	11	-	-	11	2	15	21	59	21	21	44	34	-	10	20	5	
住宅																												
持ち家(一戸建)	449	18	46	32	4	4	6	30	8	5	12	14	2	2	9	3	14	18	55									

表2-3-(7) アンケート集計表(11)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1																										
		2-3-(7) モノレールまたは筑豊電鉄の駅に近い場所での居住意向																										
		①居住意向				③選みたい駅周辺地区(近くの駅)																						
						1位											1~3位計											
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
強く思う	そう思う	あまりこたわらない	住んでもよいと思うが、	そう思わない	モノレール三萩野駅	モノレール片野駅	モノレール城野駅	モノレール守恒駅	モノレール企救丘駅	筑豊電鉄萩原駅	筑豊電鉄穴生駅	筑豊電鉄永犬丸駅	筑豊電鉄三ヶ森駅	筑豊電鉄木屋瀬駅	その他	モノレール三萩野駅	モノレール片野駅	モノレール城野駅	モノレール守恒駅	モノレール企救丘駅	筑豊電鉄萩原駅	筑豊電鉄穴生駅	筑豊電鉄永犬丸駅	筑豊電鉄三ヶ森駅	筑豊電鉄木屋瀬駅	その他		
合計・平均	1,034	7	23	48	21	30	7	6	18	7	4	8	5	8	3	3	45	31	30	32	18	10	19	16	18	6	4	
性別																												
男性	517	7	22	49	23	29	8	4	18	9	5	10	5	7	4	3	42	30	26	32	21	10	21	16	18	7	4	
女性	517	8	25	48	20	32	7	8	17	5	4	6	6	9	2	3	48	33	33	32	15	10	17	17	19	5	3	
年齢																												
20代	152	13	26	45	15	37	6	9	17	3	3	4	3	12	3	3	53	38	35	30	12	7	14	18	20	8	3	
30代	236	5	22	51	22	31	5	7	19	5	3	10	7	9	2	2	43	29	37	31	18	7	17	19	15	3	3	
40代	232	8	22	50	19	28	8	4	21	4	6	8	5	6	5	4	47	29	25	33	16	11	24	16	18	7	5	
50代	251	7	23	48	22	29	8	4	16	9	5	7	6	9	5	3	43	31	27	31	20	14	24	16	21	7	3	
60代以上	163	4	25	45	26	27	7	9	13	15	5	8	6	6	1	3	41	33	24	33	26	9	13	12	17	7	4	
年齢・性別																												
20代・男性	50	8	22	52	18	39	12	2	12	7	-	7	2	12	2	2	54	34	29	20	22	10	12	20	20	5	2	
30代・男性	123	3	21	52	24	24	5	7	18	6	4	14	6	9	2	3	35	26	31	32	18	9	23	19	15	2	4	
40代・男性	129	10	23	49	18	28	8	1	27	5	7	8	2	4	7	4	49	29	27	37	18	8	25	14	18	8	5	
50代・男性	112	10	17	49	24	31	6	2	15	12	5	9	5	6	7	2	40	31	26	32	24	14	22	13	19	9	2	
60代以上・男性	103	3	26	43	28	26	8	7	11	15	4	9	7	9	1	3	38	32	16	31	24	9	16	14	18	11	4	
20代・女性	102	16	28	42	14	36	3	11	19	1	5	2	3	11	3	3	53	40	38	35	7	6	15	17	20	9	3	
30代・女性	113	7	22	50	21	37	6	7	20	3	1	7	7	9	2	1	52	33	44	30	18	6	11	18	16	4	1	
40代・女性	103	6	21	51	21	28	7	7	12	4	6	9	10	2	5	44	28	22	27	12	14	21	17	19	5	5		
50代・女性	139	5	27	47	21	28	10	5	16	7	5	5	6	11	3	3	45	31	27	31	17	14	25	19	23	5	4	
60代以上・女性	60	7	22	50	22	30	4	13	17	15	6	6	4	-	4	47	34	36	36	28	9	9	11	17	2	4		
居住区																												
門司区	102	4	11	61	25	51	8	8	17	12	-	-	1	-	1	3	65	42	42	30	21	4	4	1	3	4	3	
小倉北区	201	8	23	47	22	59	14	5	17	2	-	1	1	1	-	1	80	58	44	37	14	1	4	1	4	1	3	
小倉南区	209	15	33	37	15	16	4	14	45	16	1	-	-	1	-	4	38	35	46	69	44	1	3	2	2	2	4	
若松区	91	4	10	56	30	25	13	-	5	9	5	23	9	9	-	2	33	20	11	13	11	20	41	25	25	2	2	
八幡東区	60	3	18	55	23	24	7	4	17	11	15	7	2	7	-	7	37	24	20	22	17	26	22	15	11	2	7	
八幡西区	298	6	28	48	18	14	3	1	3	2	9	18	13	22	10	4	25	12	9	10	5	19	40	40	46	16	4	
戸畑区	73	1	11	53	34	52	6	13	10	4	4	2	2	2	2	2	58	35	42	23	6	4	13	10	8	2	2	
居住地																												
市街化区域(街なか)	574	6	20	52	23	42	9	6	14	5	6	8	2	6	1	2	57	38	33	27	12	12	18	9	12	2	3	
市街化区域(その他)	445	10	27	45	19	16	5	6	22	10	3	7	9	11	6	4	30	23	26	38	26	7	21	25	26	11	4	
市街化調整区域	15	-	40	27	33	40	10	-	10	20	10	-	-	10	-	-	60	20	10	20	20	10	10	10	10	10	-	
市内居住歴																												
生まれたときから	269	8	19	52	20	32	7	8	14	6	4	10	3	9	3	2	46	31	30	27	13	13	21	12	19	6	2	
5年未満	143	9	27	48	17	37	4	8	17	6	3	10	3	5	3	4	45	30	34	35	23	5	18	17	14	7	5	
5~10年未満	96	8	25	44	23	39	7	24	3	5	1	3	5	3	3	51	39	36	35	16	11	16	15	16	3	3		
10~20年未満	145	5	23	54	18	24	9	2	18	6	8	8	7	9	3	6	45	31	31	29	15	10	22	18	18	3	7	
20年以上	381	7	25	44	24	26	7	6	18	10	4	7	8	9	3	2	44	30	25	34	21	9	18	19	20	8	3	
職業																												
正規雇用	380	8	24	49	19	29	6	4	19	8	6	9	5	6	4	3	44	30	27	32	20	12	23	17	17	6	4	
非正規雇用	61	10	33	39	18	36	4	2	32	10	2	4	2	4	2	2	52	44	26	52	32	6	12	6	6	2		
パート・アルバイト等	120	7	21	44	28	27	13	7	20	2	1	10	3	9	5	2	44	29	33	31	14	7	23	14	23	9	3	
自営業主	104	6	15	53	26	30	13	3	12	10	3	8	5	8	5	4	48	38	26	26	18	8	13	13	17	12	4	
家族従事者	11	-	18	55	27	13	-	-	25	13	13	13	13	13	-	-	13	13	13	25	13	13	25	25	-	-		
主婦	199	8	24	53	16	34	5	11	15	5	4	4	8	8	2	3	49	33	38	29	17	10	15	19	20	3	3	
学生	33	21	15	42	21	38	-	8	27	-	-	4	-	15	4	4	46	31	38	42	8	4	15	19	23	4	4	
無職(その他)	114	4	27	41	27	28	6	8	11	10	4	11	7	12	-	4	43	28	25	27	13	8	20	20	23	6	5	
家族構成																												
単身世帯	148	9	20	45	26	38	10	6	13	5	5	5	5	10	3	3	53	41	31	29	13	6	14	15	19	8	3	
夫婦だけ	231	6	19	53	22	33	6	5	17	9	4	6	4	8	2	4	47	29	24	29	22	11	16	17	19	4	6	
二世帯(子20歳未満)	275	8	24	51	18	25	6	9	21	6	4	10	7	5	4	2	38	30	34	34	17	10	24	19	18	6	3	
二世帯(子20歳以上)	290	6	26	47	21	30	7	6	17	7	4	8	5	11	3	3	49	31	31	33	18	8	19	14	18	6	3	
三世帯(親と子と孫)	61	15	31	38	16	29	4	2	22	6	6	6	8	8	8	2	45	29	20	29	16	20	22	24	22	12	2	
住宅																												
持ち家(一戸建)	449	7	22	48	23	25	7	4	16	8	4	10	8	11	5	3	38	26	24	32	20	10	24	21	25	10	3	
持ち家(集合住宅)	186	6	25	54	15	36	9	8	17	4	8	7	4	4	-	3	53	34	30	35	12	15	19	13	13	1	3	
民間賃貸(一戸建)	34	3	29	44	24	19	12	4	23	12	-	4	4	8	8	8	35	27	42	35	27	-	12	8	12	15	12	
民間賃貸(集合住宅)	254	7	24	46	23	37	7	9	21	4	2	6	3	6	3	4	52	37	36	34	16	5	14	13	12	5	5	
公営・公社・UR賃貸	71	14	25	38	23	24	7	5	15	15	7	7	5	11	2	2	40	42	36	24	24	13	16	11	22	5	2	
給与住宅	32	-	16	66	19	46	-	8	12	8	8	4	8	4	-	4	62	38	35	12	15	19	12	19	15	-	4	

※1:複数回答のため合計は100%にならない ※2:その他・不明を除くため合計は1,034にならない

※3:居住意向①の1~3の回答者を対象としている

表 2-3-(7)(8) アンケート集計表 (12)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1																								
		2-3-(7) バスが利用できる場所での居住意向										2-3-(8) 住宅と場所のどちらを優先するか														
		①居住意向				④理由																				
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5										
		強く思う	そう思う	ないが、あまりこだわら	住んでもよいと思う	そう思わない	ないから	自分から運転できない	族が運転できない家	車が運転できないから	ら、運転できると、車の	高年齢になると、車の	マイカーが無いから	から、マイカーが所有	が、マイカーが所有	て、マイカーが所有	経済的理由によつ	用したいから	マイカーもバスも利	住宅を優先する	住宅を優先する	どちらかといえば、	どちらともいえない	どちらかといえば、	場所を優先する	
合計・平均	1,034	24	47	23	6	16	6	38	6	6	6	6	6	6	26	5	24	31	35	4						
性別																										
男性	517	15	48	29	8	6	8	36	5	8	35	6	26	31	31	6										
女性	517	33	47	17	4	24	5	40	6	4	19	5	22	31	39	3										
年齢																										
20代	152	32	37	23	8	22	8	9	18	3	19	7	26	28	38	2										
30代	236	17	49	26	8	13	9	27	4	13	29	6	26	31	32	5										
40代	232	25	48	22	5	11	8	40	6	4	28	5	24	34	32	6										
50代	251	24	48	23	5	18	4	50	2	5	22	2	25	30	40	3										
60代以上	163	23	53	20	4	18	2	57	3	3	14	9	21	32	41	7										
年齢・性別																										
20代・男性	50	22	34	34	10	11	11	4	18	4	54	10	26	42	22	-										
30代・男性	123	11	47	31	11	7	10	21	4	13	41	6	28	32	29	5										
40代・男性	129	19	46	28	8	4	8	37	6	4	35	6	29	29	28	7										
50代・男性	112	15	48	31	5	6	7	39	3	11	34	2	26	30	38	4										
60代以上・男性	103	13	57	25	5	7	4	58	3	6	22	8	21	28	32	11										
20代・女性	102	37	38	18	7	26	6	10	18	3	34	5	25	21	46	3										
30代・女性	113	25	50	20	4	19	8	32	4	14	20	6	24	30	35	4										
40代・女性	103	33	50	16	1	17	7	43	6	3	22	3	17	40	37	4										
50代・女性	139	32	47	17	4	25	2	57	1	1	14	1	24	30	42	3										
60代以上・女性	60	42	47	10	2	34	-	55	4	-	4	12	22	38	28	-										
居住区																										
門司区	102	23	49	24	5	14	8	48	3	1	26	9	19	33	32	7										
小倉北区	201	30	46	21	2	21	4	26	10	6	31	4	28	30	33	4										
小倉南区	209	20	48	25	7	18	5	35	9	5	25	7	22	30	37	4										
若松区	91	24	57	14	4	8	12	43	3	8	22	1	23	37	38	-										
八幡東区	60	27	57	13	3	12	8	44	-	4	28	7	20	25	42	7										
八幡西区	298	21	43	27	8	15	5	41	5	6	27	4	27	32	33	5										
戸畑区	73	29	41	23	7	18	6	47	-	12	18	5	25	30	33	7										
居住地																										
市街化区域(街なか)	574	26	48	21	5	18	6	36	7	5	27	4	25	31	34	5										
市街化区域(その他)	445	21	47	25	6	14	6	40	5	7	25	6	23	31	36	4										
市街化調整区域	15	27	40	27	7	-	10	70	-	-	20	13	27	33	27	-										
市内居住歴																										
生まれたときから	269	29	48	17	6	17	7	36	6	3	29	4	27	31	33	4										
5年未満	143	25	38	29	8	21	7	26	9	11	23	7	29	26	32	6										
5~10年未満	96	19	46	27	8	11	6	24	10	8	39	8	26	28	32	5										
10~20年未満	145	18	48	29	5	11	4	42	6	6	28	5	24	35	35	1										
20年以上	381	24	50	22	4	16	6	46	4	5	21	5	21	32	37	5										
職業																										
正規雇用	380	20	47	26	7	7	8	36	4	7	35	4	26	28	37	5										
非正規雇用	61	16	56	21	7	16	5	39	7	7	27	2	30	21	46	2										
パート・アルバイト等	120	33	44	18	5	31	6	32	6	3	17	8	18	47	27	2										
自営業主	104	14	49	31	6	9	6	47	6	3	23	7	19	31	37	7										
家族従事者	11	-	73	27	-	-	-	75	-	-	25	-	27	45	27	-										
主婦	199	30	46	20	5	23	4	42	2	5	22	6	28	30	35	2										
学生	33	39	24	27	9	19	5	5	38	5	29	-	30	30	36	3										
無職(その他)	114	25	54	18	4	21	6	43	8	7	16	8	24	29	31	9										
家族構成																										
単身世帯	148	20	38	33	9	18	2	21	18	5	35	5	24	32	32	7										
夫婦だけ	231	18	52	24	6	17	2	45	3	9	20	4	26	28	37	5										
二世帯(子20歳未満)	275	26	44	23	7	11	10	31	4	7	33	6	27	29	34	4										
二世帯(子20歳以上)	290	30	50	17	3	18	6	43	6	4	22	4	22	34	38	2										
三世帯(親と子と孫)	61	23	49	21	7	16	9	50	-	2	23	8	25	33	26	8										
住宅																										
持ち家(一戸建)	449	21	54	19	6	11	7	51	3	5	21	8	22	31	35	4										
持ち家(集合住宅)	186	27	42	25	6	18	6	37	5	3	30	2	25	34	33	6										
民間賃貸(一戸建)	34	24	44	26	6	17	13	26	-	13	30	9	24	24	35	9										
民間賃貸(集合住宅)	254	26	44	24	6	20	6	21	12	8	29	4	28	30	33	5										
公営・公社・UR賃貸	71	28	37	30	6	28	4	28	7	7	24	3	18	32	44	3										
給与住宅	32	19	34	41	6	6	-	18	12	-	65	3	38	25	34	-										

※1：その他・不明を除くため合計は100%にならない ※2：その他・不明を除くため合計は1,034にならない
 ※3：居住意向の1~2の回答者を対象としている

(8) 住宅と場所のどちらを優先するか

「あなたが住みたい場所に、希望どおりの住宅（賃貸住宅や高齢者施設を含む）が見つからない場合、住宅と場所、どちらを優先して住み替え先を選ぶと思いますか。」という問いに対して、「住宅を優先する」または「場所を優先する」という明確な回答は少ない。「どちらからかといえば」という回答を合わせて「場所を優先する」の方がやや多く約4割、「住宅を優先する」「どちらともいえない」がそれぞれ約3割である。

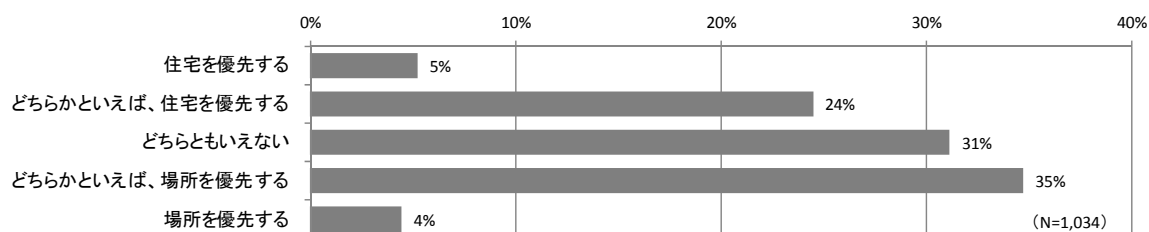


図2-3-(8) 住宅と場所のどちらを優先するか

男性は「住宅」、女性は「場所」を優先する傾向がみられる。

「場所」を優先する傾向が比較的強いのは、20代女性、50代女性、八幡東区、非正規雇用、自営業主、公営・公社・UR賃貸住宅の居住者等である。

2-4 都市づくりに関する意識・考え方

(1) “コンパクトシティ”の認知度・必要性について

① “コンパクトシティ”の認知度

まず、認知度について、「人口減少社会において、国でも地方自治体でも“コンパクトシティ”をめざしたまちづくりが進められるようになっていきます。」と提示した上で、「あなたは、“コンパクトシティ”について知っていますか。」と問いかけた。それに対し、「全く知らない、聞いたことがない」が約6割が、「言葉は聞いたことはあるが、意味はわからない」が約2割、「言葉は知っており、意味はなんとなくわかる」「知っている」が合わせて約2割であった。

認知度は男女とも低いですが、女性よりも男性の方が高い。また、「知っている」の回答率が比較的高いのは、40代男性、八幡東区の居住者である。

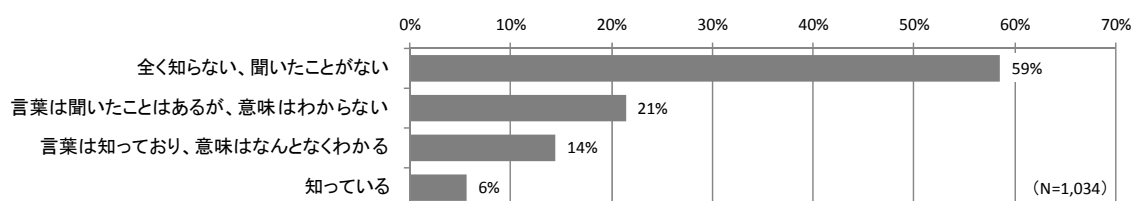


図2-4-(1)-① “コンパクトシティ”の認知度

② “コンパクトシティ”の必要性

さらに、「“コンパクトシティ”とは、公共施設や公共交通などのインフラが比較的整ったエリアを重視して、多くの人々が住めるようにしていこうという考え方です。」と提示した上で、「そのような考え方について、あなたはどう思いますか。」と問いかけた。それに対し、回答は多い順に、「自動車交通量を減らし、環境負荷の小さいまちづくりを進めていくために必要である」「行財政が厳しくなるなかで、効率的なまちづくりを進めていくために必要である」「どこも同じように過疎化していくと都市全体が元気を無くすので、まとまって人が住むエリアを大事にする必要がある」「わからない」の順となっている。ただし、回答数に大きな差はなく、いずれの考え方も偏りなく受け止められている。

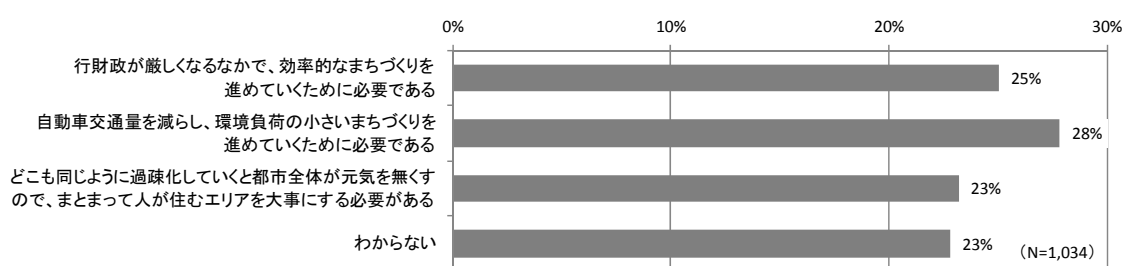


図2-4-(1)-② “コンパクトシティ”の必要性

「環境負荷の小さいまちづくり」は60代以上、「行財政コスト節約」は主婦、「まとまって住むエリアを大事に」は50代男性、40代女性、戸畑区、自営業主等の回答率が比較的高い。

(2) 公共施設削減の必要性

「北九州市の公共施設は、人口1人当たりの面積が政令市のなかで最大ですが、人口減少に合わせて公共施設を徐々に減らしていくことが行政改革の課題となっています。」と提示した上で、「そのような考え方について、あなたはどう思いますか。」と問いかけた。

最も多かった回答は「税収が減っていくのでやむを得ない」で約半数を占めたが、「現状を維持すべき」も3割近く、「利用料金などの市民負担が増えても、数は現状を維持すべき」を合わせて約1/3が、数を維持することが必要と考えている。

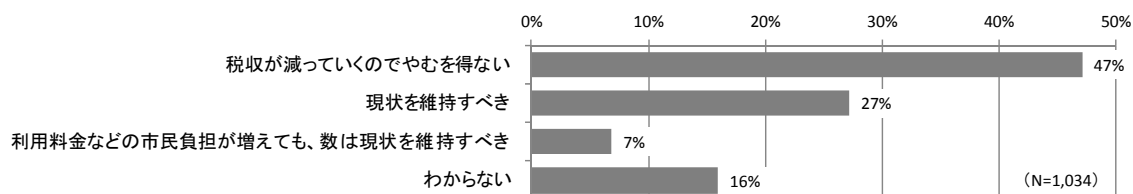


図2-4-(2) 公共施設削減の必要性に関する考え方

「やむをえない」は男性の方が、「現状を維持すべき」は女性の方が多い。また、年齢が若いほど「現状を維持すべき」とする傾向がみられる。ただし、30代男性、自営業主、八幡東区

等では、「やむをえない」とする回答率が比較的高い。

(3) 都市環境を良くする活動への参加意向

「都市環境をより良い状態で次世代へ引き継ごうとする市民活動が市内各所で行われています。」と提示した上で、「自然保護や河川・公園・道路の環境保全などの活動に参加・協力する意向はありますか。」と問いかけた。

「参加・協力する意向がある」という明快な回答は約1割であるが、「条件によっては協力・参加したい」を合わせると過半数であり、さらに「参加できないが何らかのかたちで協力したい」を合わせると、参加または協力したいという人は8割を超える。

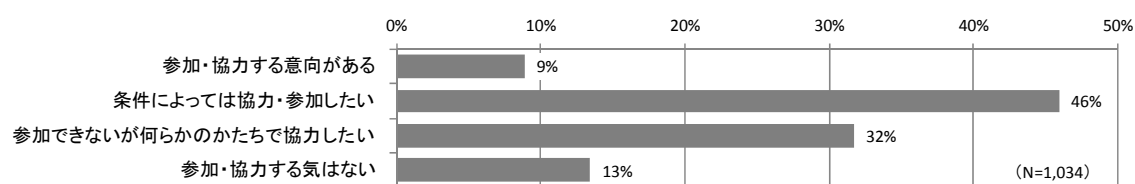


図2-4-(3) 都市環境を良くする活動への参加意向

「参加・協力する意向がある」という回答率が比較的高いのは、50代以上の男性、八幡西区、また、市内居住歴5年以内の人である。一方、「参加・協力する気はない」は年齢が若いほど、また、非正規雇用、学生、単身世帯等で回答率が比較的高い。

「参加・協力する意向がある」「条件によっては協力・参加したい」を合わせて、市内居住歴5年以内の人の参加・協力意識は高いが、5～10年未満では逆に「参加・協力する気はない」とする傾向が強い。

表2-4-(1)(2)(3) アンケート集計表(13)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1															
		2-4-(1) “コンパクトシティ”の 認知度・必要性								2-4-(2) 公共施設を減らす 必要性				2-4-(3) 都市環境を良くする 活動への参加意向			
		①認知度				②必要性				1		2		3		4	
		1	2	3	4	1	2	3	5	1	2	3	5	1	2	3	4
合計・平均	1,034	6	14	21	59	25	28	23	23	47	27	7	16	9	46	32	13
性別																	
男性	517	9	17	21	53	24	29	25	21	53	24	8	14	10	45	28	16
女性	517	3	11	21	64	26	27	22	25	41	31	6	18	8	46	35	11
年齢																	
20代	152	6	11	16	66	29	29	17	24	38	36	4	21	7	47	31	16
30代	236	6	12	21	61	27	27	19	25	50	26	5	16	10	47	29	14
40代	232	9	15	20	56	23	24	27	25	47	25	6	18	6	48	31	14
50代	251	4	11	24	61	22	27	28	22	48	27	10	12	10	45	32	13
60代以上	163	4	25	23	48	26	34	23	17	50	23	9	14	12	42	36	10
年齢・性別																	
20代・男性	50	8	20	20	52	24	32	20	22	38	36	4	20	4	52	22	22
30代・男性	123	8	13	22	57	25	30	23	19	62	20	5	11	10	46	27	18
40代・男性	129	13	18	16	53	23	23	26	26	52	19	9	17	7	46	29	18
50代・男性	112	7	13	27	53	21	27	29	22	54	27	9	8	13	44	28	15
60代以上・男性	103	5	25	22	48	25	35	23	16	50	24	9	15	14	44	33	10
20代・女性	102	5	7	15	73	31	27	16	25	37	35	4	22	8	44	35	13
30代・女性	113	3	11	20	66	28	24	14	33	37	34	5	21	10	50	32	9
40代・女性	103	4	12	26	58	23	25	29	22	42	33	3	19	6	50	34	10
50代・女性	139	1	9	22	68	23	28	27	22	43	27	10	15	6	46	36	12
60代以上・女性	60	2	25	25	48	27	32	22	20	52	22	8	13	10	38	40	12
居住区																	
門司区	102	3	18	24	56	25	24	27	23	46	24	9	19	10	50	29	11
小倉北区	201	7	17	20	56	30	30	20	19	51	23	9	15	6	50	31	13
小倉南区	209	6	12	18	64	24	27	20	29	44	27	5	17	8	44	33	15
若松区	91	3	12	18	67	18	27	27	24	45	32	3	15	4	49	33	13
八幡東区	60	13	20	17	50	18	33	27	17	55	27	3	13	3	58	25	13
八幡西区	298	4	12	24	59	28	28	22	22	46	30	7	16	13	42	32	14
戸畑区	73	7	18	27	48	19	27	29	23	47	29	11	11	10	40	37	14
居住地																	
市街化区域(街なか)	574	6	16	20	57	26	28	24	20	48	26	8	16	7	48	32	13
市街化区域(その他)	445	4	11	23	61	24	28	22	26	46	29	6	16	11	44	31	14
市街化調整区域	15	7	27	13	53	27	13	33	27	40	27	7	20	7	27	47	20
市内居住歴																	
生まれたときから	269	4	16	22	58	28	26	20	26	44	35	3	16	7	45	33	14
5年未満	143	9	14	18	59	23	35	17	24	47	31	8	13	13	52	23	12
5~10年未満	96	7	9	15	69	26	27	23	24	42	30	7	19	7	42	31	20
10~20年未満	145	5	13	23	59	21	28	26	24	41	28	9	18	10	50	28	12
20年以上	381	6	15	23	56	25	27	27	19	53	19	8	15	9	44	35	12
職業																	
正規雇用	380	9	16	22	54	26	29	23	21	51	27	7	12	10	48	27	14
非正規雇用	61	3	20	21	56	18	25	28	30	41	30	7	18	7	44	30	20
パート・アルバイト等	120	3	9	22	66	16	30	25	29	38	29	10	21	8	40	40	13
自営業主	104	7	21	21	51	20	35	28	16	57	21	8	11	10	48	34	9
家族従事者	11	-	18	27	55	18	18	18	36	36	27	-	36	9	55	36	-
主婦	199	3	12	21	64	33	22	20	26	47	26	4	20	7	47	35	11
学生	33	9	12	12	64	18	36	21	24	27	42	12	15	6	48	24	21
無職(その他)	114	3	12	22	63	31	27	22	19	45	25	8	18	10	40	35	15
家族構成																	
単身世帯	148	9	11	18	61	21	31	21	26	48	27	5	16	11	42	27	20
夫婦だけ	231	6	15	23	56	27	25	28	20	51	21	9	17	9	49	28	14
二世帯(子20歳未満)	275	7	12	15	66	26	24	23	26	45	28	8	17	9	51	30	10
二世帯(子20歳以上)	290	3	17	26	54	24	33	20	20	46	29	6	15	7	41	37	15
三世帯(親と子と孫)	61	3	23	30	44	25	25	23	28	43	33	2	18	10	48	36	7
住宅																	
持ち家(一戸建)	449	5	15	24	55	21	30	25	22	47	30	6	13	10	46	32	13
持ち家(集合住宅)	186	4	20	22	54	31	26	24	19	54	18	12	13	9	50	31	10
民間賃貸(一戸建)	34	9	6	21	65	21	32	18	26	53	21	3	24	6	53	32	9
民間賃貸(集合住宅)	254	8	11	16	65	29	25	20	25	43	30	6	19	7	44	32	17
公営・公社・UR賃貸	71	3	11	23	63	21	28	27	24	38	27	6	27	11	38	35	15
給与住宅	32	3	19	19	59	25	31	9	28	56	25	3	16	9	44	25	22

※1: その他・不明を除くため合計は100%にならない ※2: その他・不明を除くため合計は1,034にならない

(4) 都市計画制度の認知度

「土地をどのように利用するかについて、都市計画に基づいて規制や誘導を行うため各種の地域指定が行われています。」と提示した上で、線引きと用途地域について問いかけを行った。

① 市街化区域・市街化調整区域（線引き）の認知度

「市街化区域・市街化調整区域について知っていますか。」という問いに対し、「全く知らない、聞いたことがない」が約4割、「言葉は聞いたことはあるが、意味はわからない」が約3割、「言葉は知っており、意味はなんとなくわかる」が約2割、「知っている」が約1割である。

女性よりも男性の方が、また年齢が高いほど認知度が高く、60代以上の男性では「知っている」、「言葉は知っており、意味はなんとなくわかる」の合計が約6割を占める。また、自営業主も認知度が比較的高い。

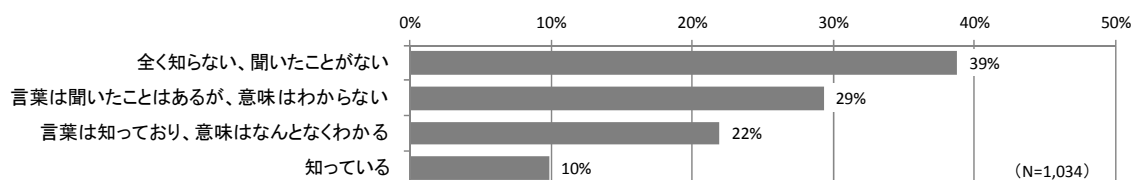


図2-4-(4)-① 市街化区域・市街化調整区域（線引き）の認知度

② 用途地域の認知度

「用途地域について知っていますか。」という問いに対して、「全く知らない、聞いたことがない」が約5割で、市街化区域・市街化調整区域よりも用途地域の方が認知度が低い。

最も認知度が高い60代以上の男性でも、「知っている」「言葉は知っており、意味はなんとなくわかる」の合計は約4割である。

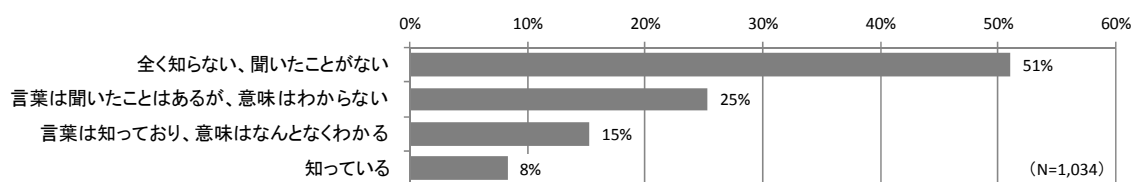


図2-4-(4)-② 用途地域の認知度

表 2-4-(4)(5) アンケート集計表 (14)

	回答者数(人) ※2	回答率(%) ※1													
		2-4-(4) 都市計画制度の認知度								2-4-(5) 地元ルール(地区計画等)の必要性・協力意識					
		①市街化区域・市街化調整区域				②用途地域									
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
合計・平均	1,034	10	22	29	39	8	15	25	51	9	28	40	12	9	2
性別															
男性	517	15	26	26	33	13	18	24	45	9	30	37	13	8	3
女性	517	5	18	32	45	4	12	27	57	9	26	42	11	10	1
年齢															
20代	152	5	12	24	59	5	9	23	63	9	24	35	17	14	1
30代	236	7	17	25	50	8	10	25	58	8	24	41	11	11	3
40代	232	9	20	33	38	9	18	26	47	6	31	34	15	10	3
50代	251	12	24	34	31	9	16	26	49	10	26	49	9	5	0
60代以上	163	17	38	28	18	10	24	26	39	12	37	36	7	4	3
年齢・性別															
20代・男性	50	8	16	26	50	6	16	22	56	6	28	42	10	12	2
30代・男性	123	10	19	25	46	11	10	27	53	9	20	36	15	14	5
40代・男性	129	16	25	26	34	14	19	22	45	6	33	30	16	9	5
50代・男性	112	21	24	29	26	16	20	22	42	12	29	43	13	3	1
60代以上・男性	103	18	41	26	15	15	27	25	33	10	39	39	6	3	3
20代・女性	102	3	10	24	64	4	6	24	67	11	22	31	21	15	1
30代・女性	113	4	16	25	55	4	10	23	63	8	28	46	7	9	2
40代・女性	103	2	15	42	42	3	17	30	50	6	29	39	13	12	-
50代・女性	139	4	23	38	35	4	14	29	54	8	24	55	6	6	-
60代以上・女性	60	13	33	30	23	3	18	28	50	15	33	32	8	7	3
居住区															
門司区	102	12	25	29	33	10	19	25	46	10	29	36	12	10	2
小倉北区	201	8	20	30	41	8	17	23	52	7	27	39	11	11	3
小倉南区	209	13	26	25	35	11	14	27	49	9	28	39	12	7	3
若松区	91	13	19	30	38	7	18	19	57	11	26	44	9	8	1
八幡東区	60	10	18	35	37	10	15	22	53	5	40	38	10	5	2
八幡西区	298	8	20	28	44	7	13	28	52	10	27	39	14	8	2
戸畑区	73	7	26	37	30	7	15	30	48	7	26	47	8	11	1
居住地															
市街化区域(街なか)	574	9	21	31	39	9	16	25	50	9	29	39	11	9	2
市街化区域(その他)	445	11	23	28	38	7	15	25	52	8	27	41	13	8	2
市街化調整区域	15	-	27	20	53	-	7	40	53	13	27	13	7	20	20
市内居住歴															
生まれたときから	269	10	18	30	42	9	16	27	49	7	27	39	15	9	2
5年未満	143	13	15	29	43	11	11	24	54	13	24	41	10	11	1
5~10年未満	96	5	21	23	51	7	14	20	59	7	26	31	15	17	4
10~20年未満	145	8	22	30	40	6	16	26	52	9	35	32	14	8	1
20年以上	381	11	28	30	31	8	17	26	49	9	28	45	9	6	3
職業															
正規雇用	380	13	23	29	35	11	18	25	46	11	30	38	11	7	2
非正規雇用	61	10	26	26	38	8	15	21	56	5	34	41	11	7	2
パート・アルバイト等	120	4	19	35	41	3	12	31	55	5	27	37	14	13	2
自営業主	104	16	31	29	24	15	20	28	37	5	38	36	13	9	-
家族従事者	11	-	18	27	55	-	18	9	73	-	-	45	27	27	-
主婦	199	4	20	30	47	2	13	26	60	9	27	44	10	8	2
学生	33	9	9	18	64	12	9	18	61	12	21	33	9	18	6
無職(その他)	114	11	19	31	39	9	13	25	54	10	23	43	12	7	5
家族構成															
単身世帯	148	13	20	25	43	14	14	22	51	9	20	38	11	19	3
夫婦だけ	231	13	29	30	29	8	18	31	43	9	31	40	11	8	1
二世帯(子20歳未満)	275	9	16	27	48	6	12	25	57	8	28	40	13	9	1
二世帯(子20歳以上)	290	6	24	32	38	6	18	23	52	8	30	39	13	5	4
三世帯(親と子と孫)	61	11	20	31	38	13	10	23	54	16	30	41	7	5	2
住宅															
持ち家(一戸建)	449	12	24	32	32	8	17	25	50	10	29	42	11	5	2
持ち家(集合住宅)	186	11	26	33	30	10	19	32	39	9	37	43	8	2	1
民間賃貸(一戸建)	34	9	21	29	41	12	9	32	47	6	35	29	15	12	3
民間賃貸(集合住宅)	254	8	16	24	52	9	11	20	60	8	22	36	12	19	3
公営・公社・UR賃貸	71	7	21	21	51	6	10	21	63	8	18	35	24	13	1
給与住宅	32	-	25	28	47	3	19	31	47	3	28	41	16	9	-

※1: 複数回答のため合計は100%にならない ※2: その他・不明を除くため合計は1,034にならない

(5) 地元ルールの必要性・協力意識

「都市計画では用途地域指定によって建物の用途や建ぺい率、容積率などを規定していますが、さらに、地元が協力してより効力のあるルール（地区計画）をつくることができます。この地元ルールによって、生活環境の悪化につながる高層マンションやパチンコ店、風俗店、工場などの規制が可能になります。」と提示した上で、「そのような地元ルールづくりについて、あなたは協力したいと思いますか。」という問いかけを行った。

それに対して、「地元ルールづくりに積極的に協力したい」は約1割であるが、「まわりで地元ルールづくりの動きがあれば協力したい」を合わせると4割近くが協力の意向を示している。さらに、「今住んでいる場所では心配ないが、もし生活環境の悪化が心配な場所に住んでいれば協力すると思う」を合わせると8割近くを占め、生活環境の保全を願う人が多いことがわかる。

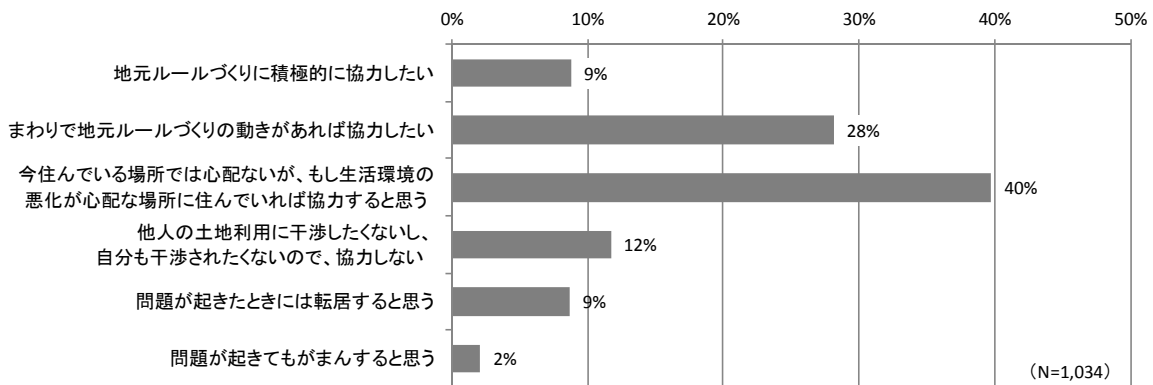


図2-4-(5) 地元ルールの必要性・協力意識

60代、八幡東区、市内居住歴10～20年未満、自営業主、三世帯世帯、持ち家（集合住宅）の居住者等で、協力意識が高い傾向にある。

(6) 都市景観に関する意識

① 都市景観への関心

「あなたは普段、都市の景観（街並みや風景）に関心がありますか。」という問いに対して、「かなり関心がある」が約1割、「やや関心がある」を合わせて、約7割である。

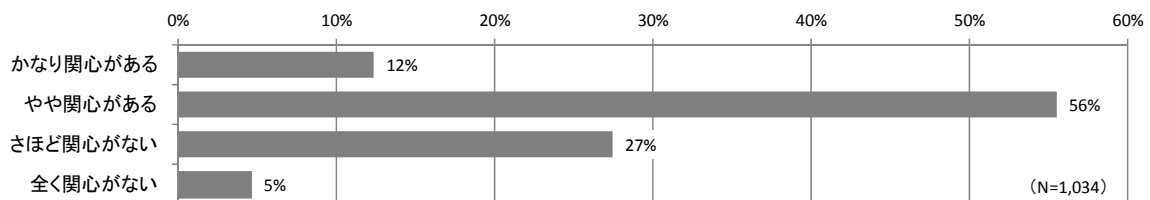


図2-4-(6)-① 都市景観への関心

男性よりも女性の方が、また年齢が高いほど関心が高い。

若松区、戸畑区、三世帯世帯、持ち家（集合住宅）の居住者等で、関心が高い傾向にある。

② 都市景観ルールの必要性

「都市の“顔”となる駅前や景観・風景の保全が望ましい場所で、建物の色彩や素材、屋外広告の色彩や大きさなどについて、何らかのルールが必要だと思いますか。」という問いに対して、「ぜひ必要と思う」が約2割、「やや必要と思う」を合わせて約8割近くが都市景観ルールの必要性を感じている。

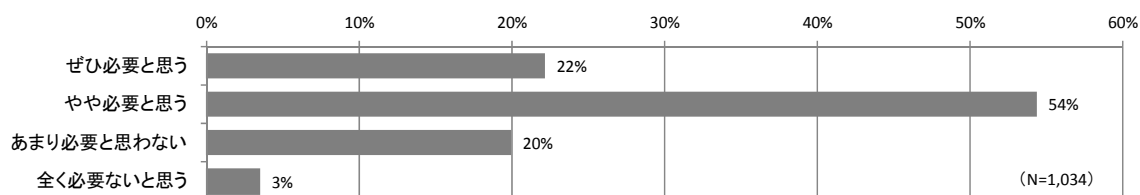


図 2-4-(6)-② 都市景観ルールの必要性

男性よりも女性の方が、また、年齢が高いほど必要性を感じる傾向にある。60代以上の女性では、約4割が「ぜひ必要」と回答している。また、持ち家（集合住宅）の居住者等で「ぜひ必要」の回答率が比較的高い。

(7) 防災情報マップの認知度

「あなたは、全戸に配布され、インターネットでも見ることができる『北九州市防災情報マップ』を知っていますか。」という問いに対して、「見たことがあり、自宅周辺などの情報もだいたい把握している」「わかりやすい場所に置いている」及び「インターネットを利用して」を合わせて、認知しているという回答は約2割である。これは、「全く知らない、聞いたことがない」という回答を下回り、防災情報マップの認知度は低いことがわかる。

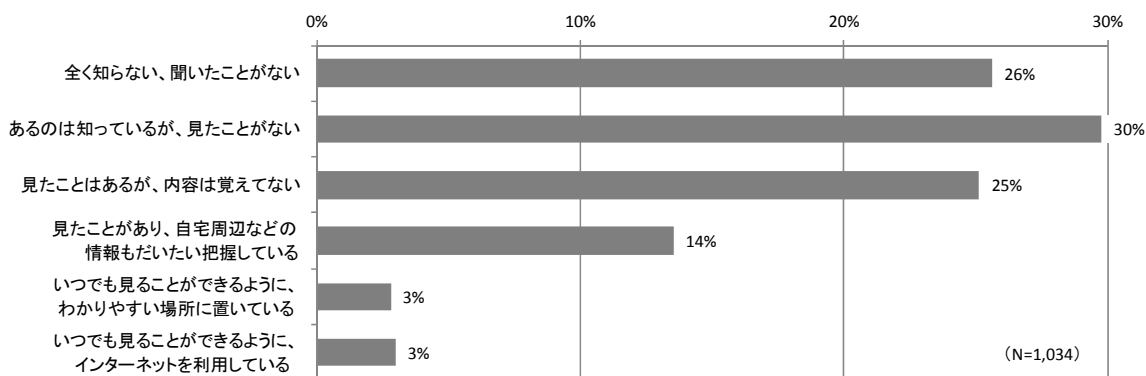


図 2-4-(7) 防災情報マップの認知度

年齢が高いほど認知度が高く、なかでも60代以上の女性の認知度が高い。また、自営業主、持ち家（集合住宅）の居住者等の認知度が比較的高い。

表 2-4-(6)(7) アンケート集計表 (15)

	回答者数(人) ※2	回答率 (%) ※1													
		2-4-(6) 都市景観に関する意識								2-4-(7) 防災情報マップの認知度					
		①都市景観(街並みや風景)への関心				②都市景観ルールの必要性				2-4-(7) 防災情報マップの認知度					
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
		かなり関心がある	やや関心がある	さほど関心がない	全く関心がない	ぜひ必要と思う	やや必要と思う	あまり必要と思わない	全く必要ないと思う	全く知らない、聞いたことがない	見たことは知っているが、覚えていない	見たことはあるが、内容がわからない	見たことがあり、自宅周辺の情報がまだいた	いきやすい場所に置いて	いつでも見ることができ、インターネット
合計・平均	1,034	12	56	27	5	22	54	20	3	26	30	25	14	3	3
性別															
男性	517	13	52	28	7	21	52	21	6	25	31	23	14	3	4
女性	517	12	59	27	2	23	57	19	1	26	29	27	13	3	2
年齢															
20代	152	11	47	37	6	14	54	27	5	37	28	23	6	3	3
30代	236	9	56	29	6	22	50	24	3	31	28	28	10	2	2
40代	232	7	60	26	6	20	53	23	4	22	31	25	16	3	3
50代	251	14	59	24	3	23	59	15	3	24	27	26	14	4	4
60代以上	163	24	52	23	2	32	55	11	2	15	35	23	21	2	4
年齢・性別															
20代・男性	50	8	46	36	10	14	50	24	12	34	32	16	4	6	8
30代・男性	123	10	51	30	9	23	42	30	5	33	31	24	11	2	1
40代・男性	129	12	54	25	9	19	51	21	8	24	27	26	17	2	4
50代・男性	112	13	54	28	6	19	58	19	4	23	27	26	13	3	7
60代以上・男性	103	19	52	25	3	28	57	12	3	14	40	20	18	3	5
20代・女性	102	12	47	37	4	14	56	28	2	38	26	26	7	1	1
30代・女性	113	8	62	28	2	21	59	18	2	29	25	32	9	2	4
40代・女性	103	2	67	28	3	20	54	25	-	20	37	22	15	5	1
50代・女性	139	15	63	22	1	27	60	12	1	24	28	27	15	5	1
60代以上・女性	60	32	50	18	-	38	52	10	-	17	27	27	27	2	2
居住区															
門司区	102	12	56	27	5	21	58	17	5	29	25	25	13	4	4
小倉北区	201	10	52	32	5	20	53	22	4	27	20	27	19	4	2
小倉南区	209	11	56	28	4	21	55	22	3	23	35	23	14	1	3
若松区	91	14	64	19	3	24	57	15	3	34	31	19	11	2	3
八幡東区	60	20	50	25	5	23	55	22	-	25	38	15	13	3	5
八幡西区	298	12	55	29	4	23	54	19	3	23	31	30	12	2	2
戸畑区	73	15	59	19	7	25	49	19	7	23	36	23	7	5	5
居住地															
市街化区域(街なか)	574	11	56	27	5	23	55	19	3	26	26	26	15	4	2
市街化区域(その他)	445	13	55	27	4	22	54	21	3	24	35	24	11	2	4
市街化調整区域	15	13	40	40	7	7	53	33	7	40	27	7	27	-	-
市内居住歴															
生まれたときから	269	11	52	30	7	17	54	25	4	25	33	24	12	3	4
5年未満	143	10	60	27	3	24	50	22	3	31	26	29	12	2	1
5~10年未満	96	16	52	25	7	17	54	23	6	41	25	21	8	2	3
10~20年未満	145	10	58	30	3	21	61	14	3	23	32	22	18	1	3
20年以上	381	14	56	26	4	27	54	17	3	21	30	27	15	4	3
職業															
正規雇用	380	13	57	25	5	21	54	20	4	24	33	24	12	3	3
非正規雇用	61	11	59	23	7	21	62	11	5	25	34	25	11	2	3
パート・アルバイト等	120	10	57	27	7	23	47	27	3	32	24	23	15	3	3
自営業主	104	11	52	33	5	20	54	22	4	20	31	22	22	3	2
家族従事者	11	-	45	55	-	36	36	27	-	9	36	27	27	-	-
主婦	199	15	58	26	1	23	59	18	1	24	25	30	15	4	2
学生	33	15	39	36	9	18	48	24	9	48	18	24	-	3	6
無職(その他)	114	11	52	32	5	25	55	18	3	26	33	26	10	1	4
家族構成															
単身世帯	148	9	56	28	7	19	55	21	5	34	30	21	7	5	3
夫婦だけ	231	16	57	26	1	25	58	15	2	25	29	26	16	2	2
二世帯(子20歳未満)	275	10	56	31	4	23	49	25	3	24	24	32	16	4	1
二世帯(子20歳以上)	290	13	52	27	8	22	54	19	5	24	34	21	14	2	4
三世帯(親と子と孫)	61	16	62	21	-	16	64	18	2	18	41	21	10	2	8
持ち家(一戸建)	449	12	59	24	5	23	56	18	3	21	32	24	15	3	3
住宅															
持ち家(集合住宅)	186	16	61	20	2	27	56	15	2	20	30	25	20	3	1
民間賃貸(一戸建)	34	12	44	38	6	24	44	26	6	26	18	29	18	3	6
民間賃貸(集合住宅)	254	10	55	30	6	19	54	22	4	38	26	24	6	3	3
公営・公社・UR賃貸	71	15	32	46	6	18	42	32	7	24	27	31	11	1	6

※1: 複数回答のため合計は100%にならない ※2: その他・不明を除くため合計は1,034にならない

3 まとめと考察

以上のアンケート結果をもとに、北九州市にふさわしいコンパクトな都市づくりという視点から考察を行う。

① コンパクトシティの考え方は広まるか

まず、コンパクトシティの認知度について、知っている、何となくわかるという人は約2割と少なかったが、その考え方を紹介したところ8割近くがそれを受け止め、「行財政」「環境」「都市活力」の3つの基本的な視点に対して理解を示した。今後、コンパクトシティについて市民の認知や理解を拡げていくことは十分可能と思われる。

② 市民の住み替え行動はコンパクトシティ化の方向に進むか

市民の暮らしの実感においても、コンパクトシティに向かう意識は形成されつつある。

現住地を比較的住みよいと感じている人は約8割を占めるが、空き家の増加や日用品店舗の減少に不安や不便を感じている人が約3割、将来そうなる予想している人を合わせると約6割が不安を抱えている。空き家は今後確実に増えていくが、現段階では空き家の増加よりも店舗の減少の方が問題視されている。日常の買い物は、公共交通とともに、現住地を評価するときにも、また住み替えを想定する場合でも最大の関心事である。それらの条件が悪化して車に依存しないと日用品も買えなくなったときに、住み続けることは難しいと感じる人が半数を超え約6割となる。マイカーも利用できず“買物弱者”となっても現住地に住み続けたいという人は1割未満である。

今回の調査では、市街化区域内であれば街なかとそれ以外の場所による回答傾向にあまり差はなく、現居住地を住み良いと感じている人の割合もほとんど変わらない。そのなかで、評価の差が最も大きいのは公共交通の利便性である。今後、バス運行サービスが低下していけば、街なか以外の場所で、住み続けることが難しいと感じる人が増えていくのは避けられない。街なか以外の居住者は、住み替えるならバスが利用できる場所がよいと思う人が約7割、JR駅に近い場所がよいと思う人が約6割であり、このような公共交通指向型の住み替えを通じて、今後、コンパクトシティ化が進んでいく可能性は高いと考える。

さらに、公共施設の数について、減らすべきでないという意見が約1/3を占めるが、約半数はやむを得ないと考えており、人口減少が大きい地区では、今後削減が避けられず、街なかへの住み替えが進む要因となっていくと思われる。

③ 多極型のコンパクトシティは成立するか

コンパクトシティの考え方は、都心とその周辺を偏重するものという誤解をうけやすいが、実際には、それぞれの都市の規模や特性に応じた展開が必要である。基本的な方向は、地域の核となるエリアに都市機能の集約立地を推進し、その周辺に多くの人々が住めるような都市づくりを進めることであり(1)、都市規模が大きければ多核型となるのが必然である。元より

多極的な北九州市のコンパクトシティ化の方向は、既存の拠点地区のポテンシャルを十分活かせるものであることが望ましい。

上記のように、公共交通指向型の居住地選択が進むことが予想されるが、最も人気が高いのは「小倉駅」であり、JR駅周辺に住みたい人の1/3が都心を第1位に上げている。次いで「黒崎駅」「折尾駅」「戸畑駅」「下曽根駅」「門司駅」「八幡駅」と続くが、それぞれが一定の支持を得ており、地元の駅を支持する傾向は強い。また、住みたい市区町村をたずねても、現在の居住区を選ぶ傾向は強く、住み替え先として地元の駅周辺を選びたい人は多い。

それぞれの駅を中心とする拠点地区には、旧5市時代から形成、更新、拡充されてきた都市機能のストックがあり、培われてきた歴史や文化、地域の特色、社会資本など居住再生に役立つ条件はある程度備わっている。また、駅の改築や都市再生プロジェクト等によって、駅周辺の魅力は高まっている。

一方、住宅購入を希望する人の約2/3は住宅の資産価値を重視しており、なかでも、市外から移り住んで間もない若い世代はその傾向が強い。地価が維持できる可能性があるのは駅の近くであり、そこで需要に応える良質な住宅の供給が進めば、多極型のコンパクトシティ成立の可能性は高く、また、市外からの住み替え促進につながると思われる。

④ どのような“住まい”が望まれているか

持ち家・戸建て志向は根強く、今回の調査でも住み替えるなら選びたい住宅として持ち家・戸建てが最も多く3割を上回った。しかし、経年的にみると持ち家・戸建て志向はかなり後退している(2)。かつては、持ち家・戸建てに住めるなら不便な場所でも我慢するという選択が大勢であった。しかし今は逆転し、上記のように、生活利便性重視が多数派である。住み替えるならば「住宅」と「場所」のどちらを優先するかという問いに対しても、回答は「場所」の方が多かった。しかし、「場所」優先が約4割であったのに対し「住宅」優先は約3割、また、「どちらともいえない」も約3割であった。“住まい”選びの条件として「場所」も「住宅」も重視度に大きな差はなく、やはりどちらも同じように大事と考えられている。

望ましい住宅の条件として、「自然災害に対する安全性」が最も重視されるのは当然の結果であり、また、「日照やプライバシー」「騒音がなく静かであること」も必須条件とする人が約3割を超え、重視しないという人は1割未満である。住宅価格、家賃、交通などの諸条件がいくら希望どおりでも、自然災害、日照やプライバシー、騒音について問題があれば、選ばれる可能性は小さい。

一方、「眺望」「建物の外観のデザイン」を必須条件とする人は1割程度であるが、女性やマンション購入希望者は比較的重視する傾向にある。分譲マンションの場合、「眺望」や「建物の外観のデザイン」は価格や販売競争力を高める条件となっているが、今後“住まい”選びの決め手となる条件として、さらに重要性を増していくと思われる。

⑤ コンパクトシティ化は良好な都市環境の形成につながるか

多くの人が住みたいと思う場所ではマンション等の集合住宅の建設が進むことが見込まれるが、駅周辺の用途地域は主に商業地域であり、建築基準法の日影規制の適用がない。また、住商の混在する場所では騒音問題、夜間照明問題なども発生しやすい。駅から少し離れた場所では、多くの人が望む住宅専用、住宅中心の土地利用が行われているが、街なかでは高さ規制がない住居系用途地域が指定されていることから、低層住宅地のなかにマンションやアパートが建てられ生活環境が阻害される恐れもある。用途地域に関する市民の認知度は低く、問題が生じてはじめて知るといったケースがほとんどである。

日照やプライバシー、騒音、さらに眺望といった多くの人が“住まい”に求める要件は、何らかのコントロールがなければ保障されない。コンパクトシティ化を良好な都市環境の形成につなげていくためには、地区計画をはじめ地元住民の合意にもとづくルールづくりが課題である。今回の調査では、建物の用途、建て方や都市景観に関する地元ルールづくりに協力の必要性を感じている人は約8割、また、都市環境を良くする活動への参加・協力に前向きな人も8割を超えた。生活環境や都市環境の保全、改善を願う人は多く、そのような意識を喚起し、行動につなげていくための対策について、いっそうの強化が必要と考える。

おわりに

本調査研究は、住宅・居住地の選好性や生活環境、都市環境に関する意識等の把握を目的に、北九州市の居住者を対象とするアンケート調査を実施した。その結果から、近年の住み替え動向の基調となっている市民意識をある程度把握することができたと考える。

具体的な政策に結びつけていくためには、さらに検討、考察が必要であり、また、市民意識の動向を把握するための調査を繰り返し実施することが課題と考える。

補注

- (1) 国土交通省では、平成25年4月に「都市再構築戦略検討委員会」を設置し、地方都市・大都市の都市構造を再構築していくための施策について検討を行い、集約型の都市構造を実現するために、地域の核となるエリアに都市機能（総合病院、商業施設、訪問看護・介護等）の集約立地を推進するという方向を示した。
- (2) 国と市による住生活総合調査（2003年度までは住宅需要実態調査）によると、住み替え時に選びたい住宅として、持ち家（一戸建）は、2003年は50%、2008年は43%であった。

参考文献

- 1) 伊藤解子（2013）「市民意識と都市づくりの課題」、『都市政策研究所紀要 第7号』、北九州市立大学都市政策研究所、pp13-36
- 2) 伊藤解子（2012）「都心居住に関する市民意識」、『地域課題研究』、北九州市立大学都市政策研究所、pp1-20